

Ⅱ 調査の結果

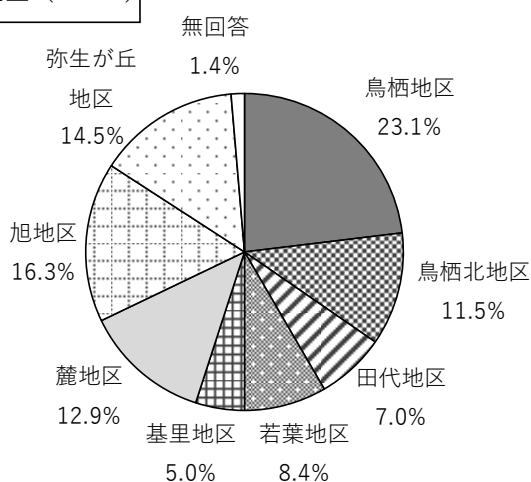
1. 住まいの地域について

(1) 住まいの小学校区

設問 お住まいの小学校区として当てはまる答えの番号1つに〇をつけてください。

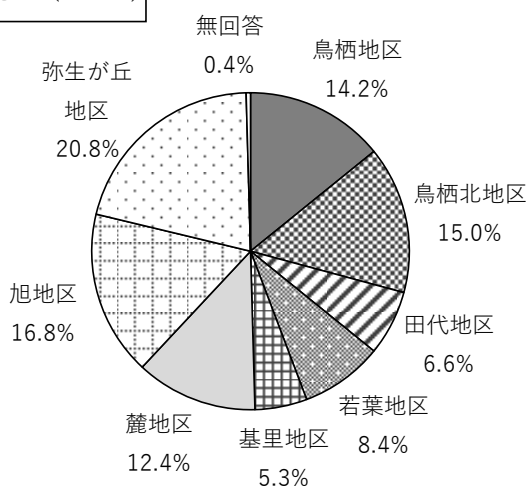
- 就学前児童は、「鳥栖地区」が23.1%と最も多く、次いで「旭地区」が16.3%、「弥生が丘地区」が14.5%となっています。
- 小学生児童は、「弥生が丘地区」が20.8%と最も多く、次いで「旭地区」が16.8%、「鳥栖北地区」が15.0%となっています。

就学前児童 (N=442)



	(人)	(%)
鳥栖地区	102	23.1
鳥栖北地区	51	11.5
田代地区	31	7.0
若葉地区	37	8.4
基里地区	22	5.0
麓地区	57	12.9
旭地区	72	16.3
弥生が丘地区	64	14.5
無回答	6	1.4
計	442	100.0

小学生児童 (N=226)



	(人)	(%)
鳥栖地区	32	14.2
鳥栖北地区	34	15.0
田代地区	15	6.6
若葉地区	19	8.4
基里地区	12	5.3
麓地区	28	12.4
旭地区	38	16.8
弥生が丘地区	47	20.8
無回答	1	0.4
計	226	100.0

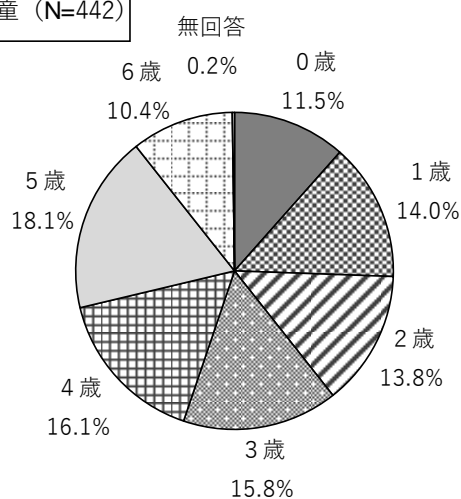
2. お子さんをご家族の状況について

(1) 子どもの年齢

設問 宛名のお子さんの生年月、および平成 30 年 10 月 1 日現在の年齢をご記入ください。（口内に数字でご記入ください。）

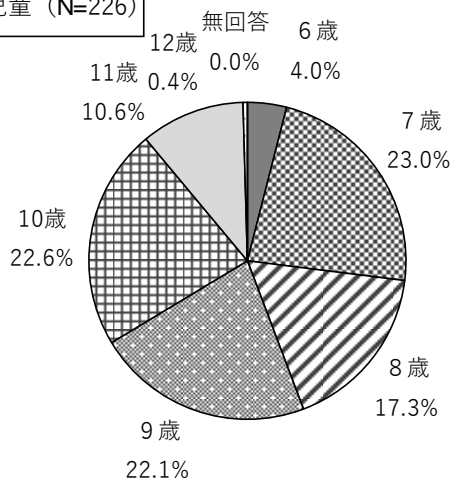
- 就学前児童は、「5歳」が18.1%と最も多く、次いで「4歳」が16.1%、「3歳」が15.8%となっています。
- 小学生児童は、「7歳」が23.0%と最も多く、次いで「10歳」が22.6%、「9歳」が22.1%となっています。

就学前児童 (N=442)



	(人)	(%)
0歳	51	11.5
1歳	62	14.0
2歳	61	13.8
3歳	70	15.8
4歳	71	16.1
5歳	80	18.1
6歳	46	10.4
無回答	1	0.2
計	442	100.0

小学生児童 (N=226)



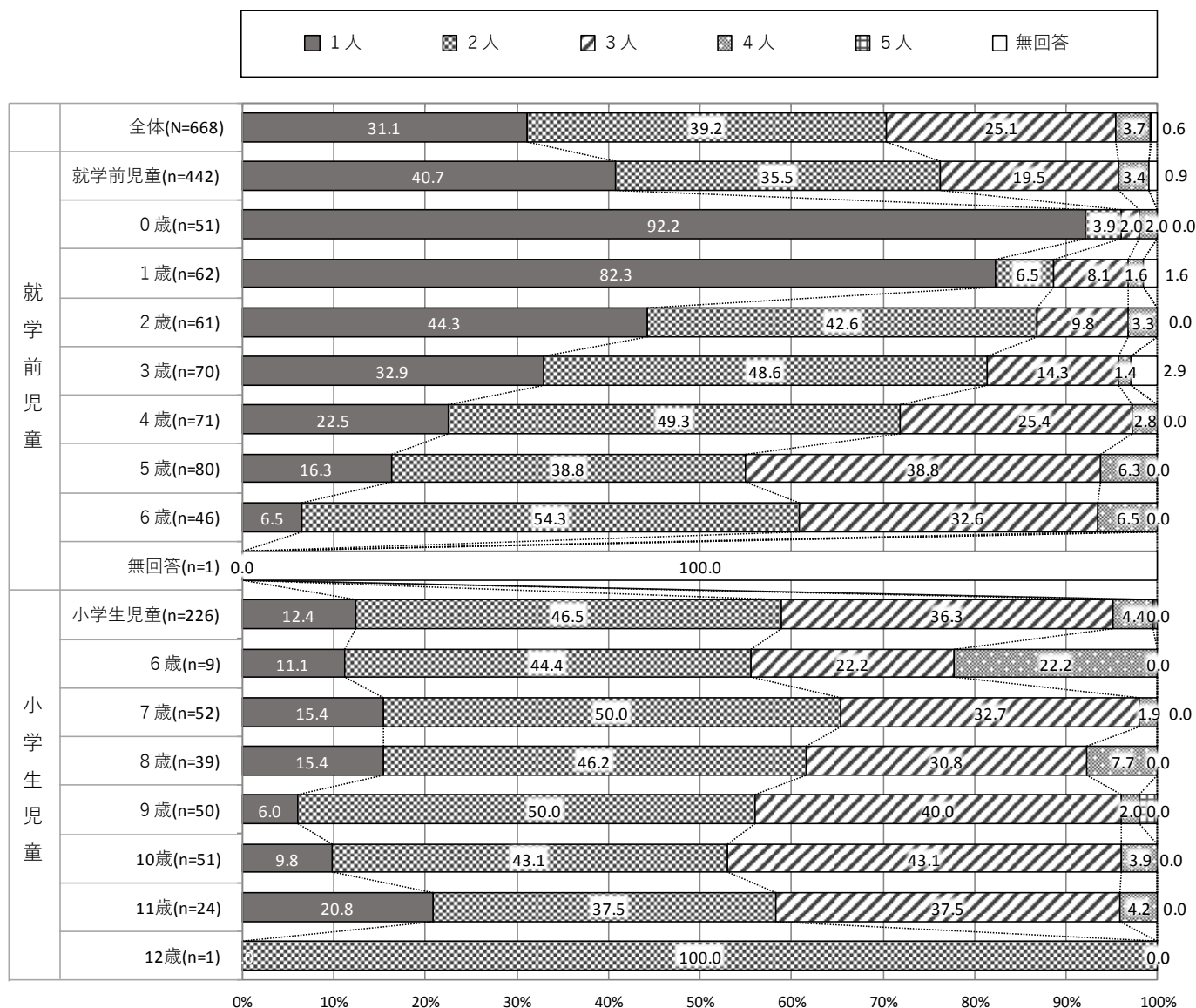
	(人)	(%)
6歳	9	4.0
7歳	52	23.0
8歳	39	17.3
9歳	50	22.1
10歳	51	22.6
11歳	24	10.6
12歳	1	0.4
無回答	0	0.0
計	226	100.0

(2) 子どものきょうだい数と末子の年齢

設問 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。なお、2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください)。

【子どものきょうだい数】

- 全体では、「2人」が39.2%と最も多く、次いで「1人」が31.1%、「3人」が25.1%となっています。
- 就学前児童は、年齢があがるにつれて兄弟数は増加しています。
- 小学生児童は、「2人」または「3人」を占める割合が高い傾向にあります。



【末子の年齢】

- 就学前児童は、「1歳」が21.7%と最も多く、次いで「0歳」が21.5%、「2歳」が16.5%となっています。
- 小学生児童は、「8歳」が15.5%と最も多く、次いで「7歳」が13.7%、「6歳」が9.7%となっています。

■ 就学前児童の末子の年齢

誕生日（年齢）	（人）	（%）
24年（6歳）	20	4.5
25年（5歳）	42	9.5
26年（4歳）	45	10.2
27年（3歳）	50	11.3
28年（2歳）	73	16.5
29年（1歳）	96	21.7
30年（0歳）	95	21.5
31年（0歳）	2	0.5
無回答	19	4.3
計	442	100.0

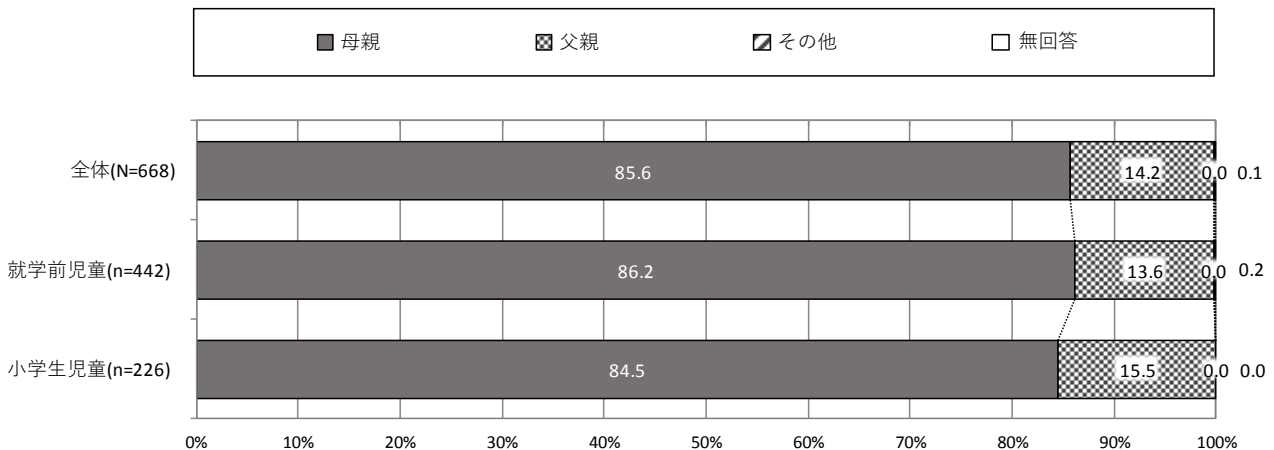
■ 小学生児童の末子の年齢

（誕生日）年齢	（人）	（%）
19年（11歳）	10	4.4
20年（10歳）	18	8.0
21年（9歳）	19	8.4
22年（8歳）	35	15.5
23年（7歳）	31	13.7
24年（6歳）	22	9.7
25年（5歳）	15	6.6
26年（4歳）	20	8.8
27年（3歳）	15	6.6
28年（2歳）	11	4.9
29年（1歳）	14	6.2
30年（0歳）	7	3.1
無回答	9	4.0
計	226	100.0

（3）回答者とお子さんの関係（続柄）

設問 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係で、当てはまる番号1つに○をつけてください。

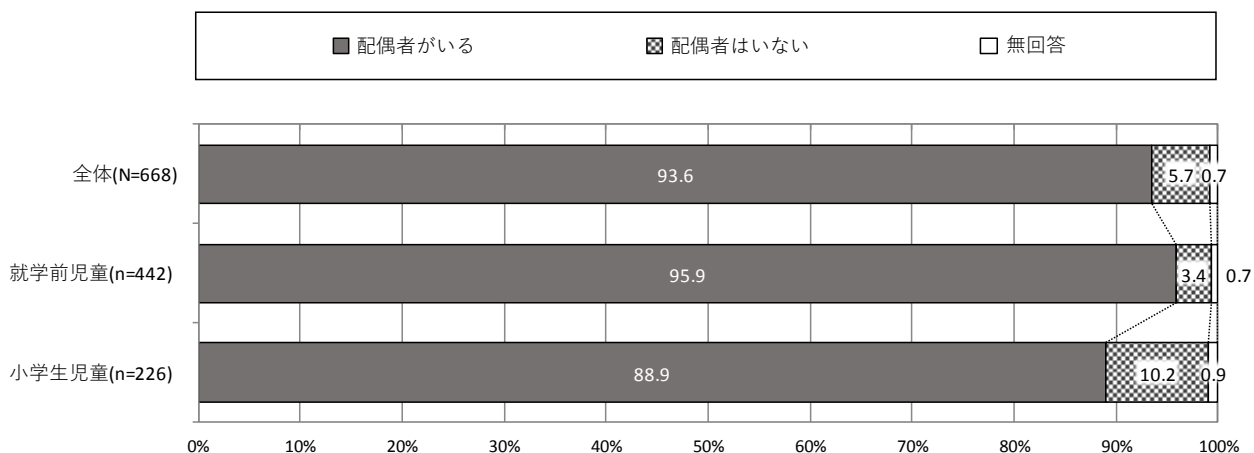
- 全体では、「母親」が85.6%と最も多くなっています。
- 就学前児童と小学生児童を比較すると、「父親」の割合は、小学生児童の方が若干多くなっています。



(4) 回答者の配偶関係

設問 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

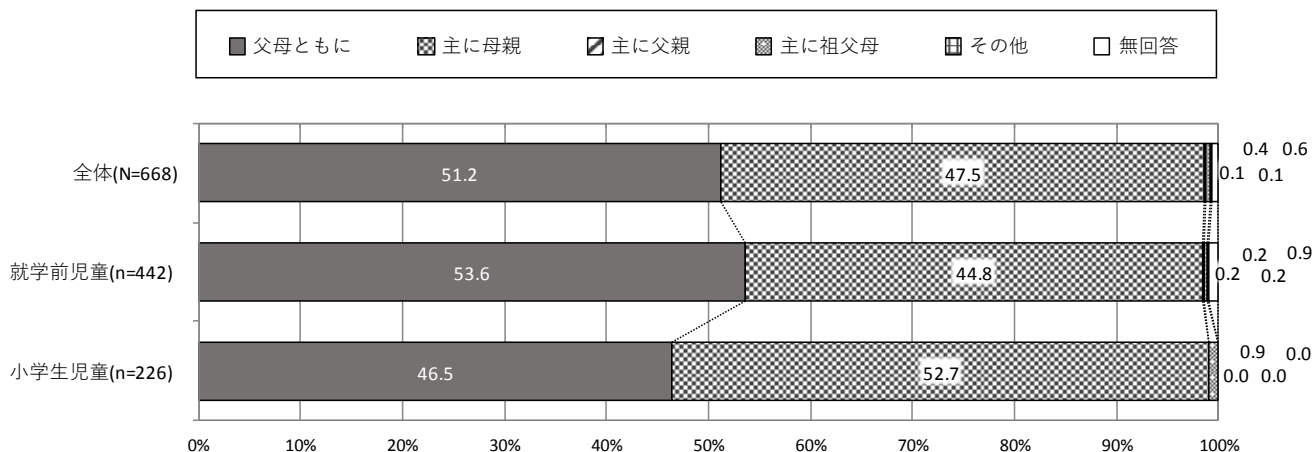
- 全体では、「配偶者がいる」が93.6%となっています。
- 就学前児童と小学生児童を比較すると、「配偶者がいない」割合は小学生の方が多くなっています。



(5) 主に子育てを行っている人

設問 宛名のお子さんの子育て（教育や保育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- 全体では、「父母ともに」が51.2%と最も多く、次いで「主に母親」が47.5%、「主に祖父母」が0.4%となっています。
- 就学前児童から小学生児童にかけて、「父母ともに」の割合が減少し、「主に母親」の割合が増加しています。

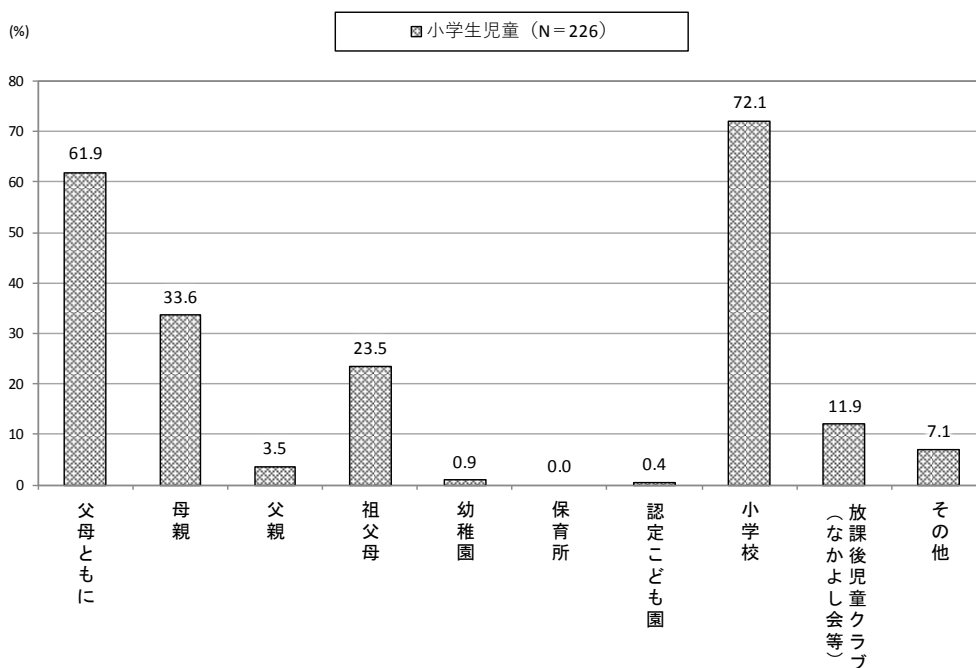
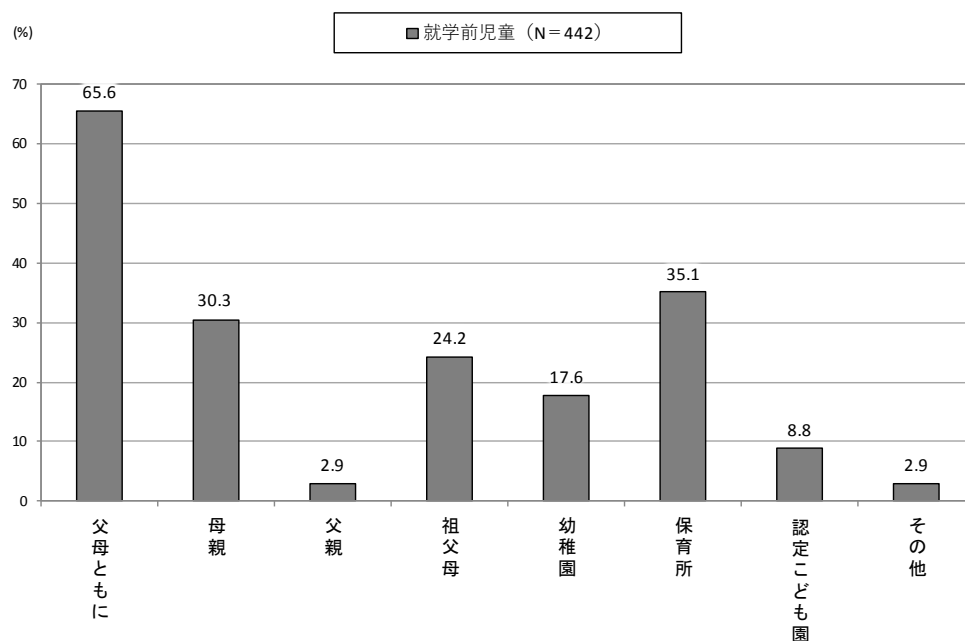


3. 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子どもと日常的に関わっている方

設問 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

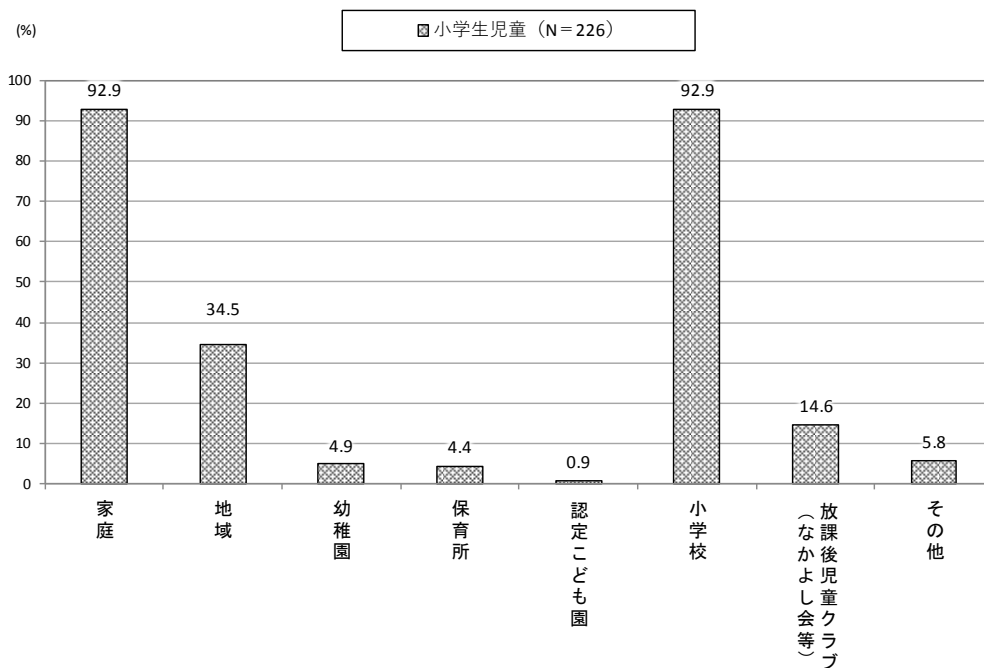
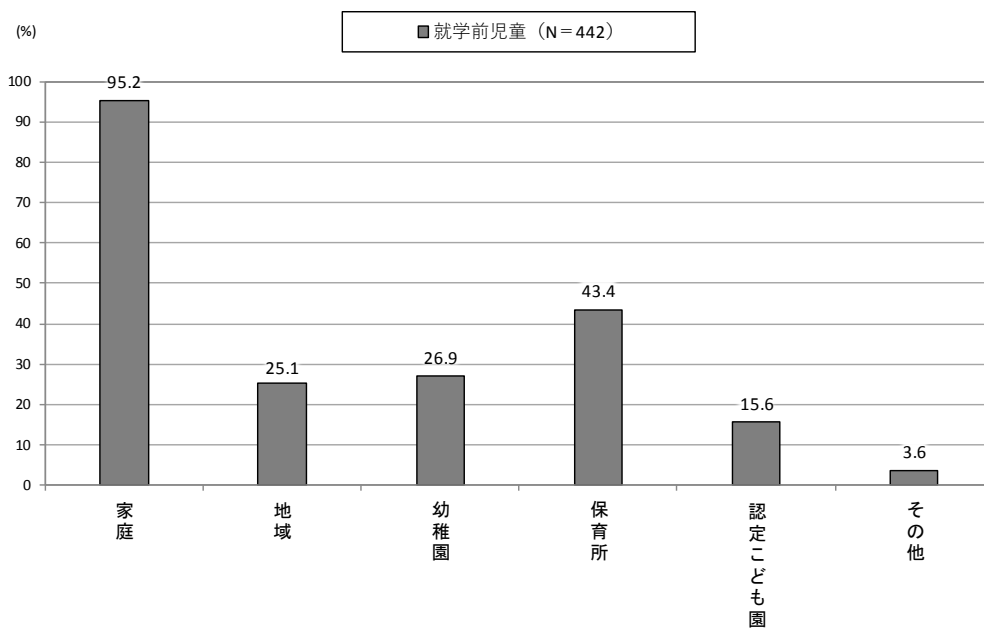
- 就学前児童は、「父母ともに」が65.6%と最も多く、次いで「保育所」が35.1%、「母親」が30.3%となっています。
- 小学生児童は、「小学校」が72.1%と最も多く、次いで「父母ともに」が61.9%、「母親」が33.6%となっています。



(2) 子どもに最も影響すると思われる環境

設問 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、最も影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

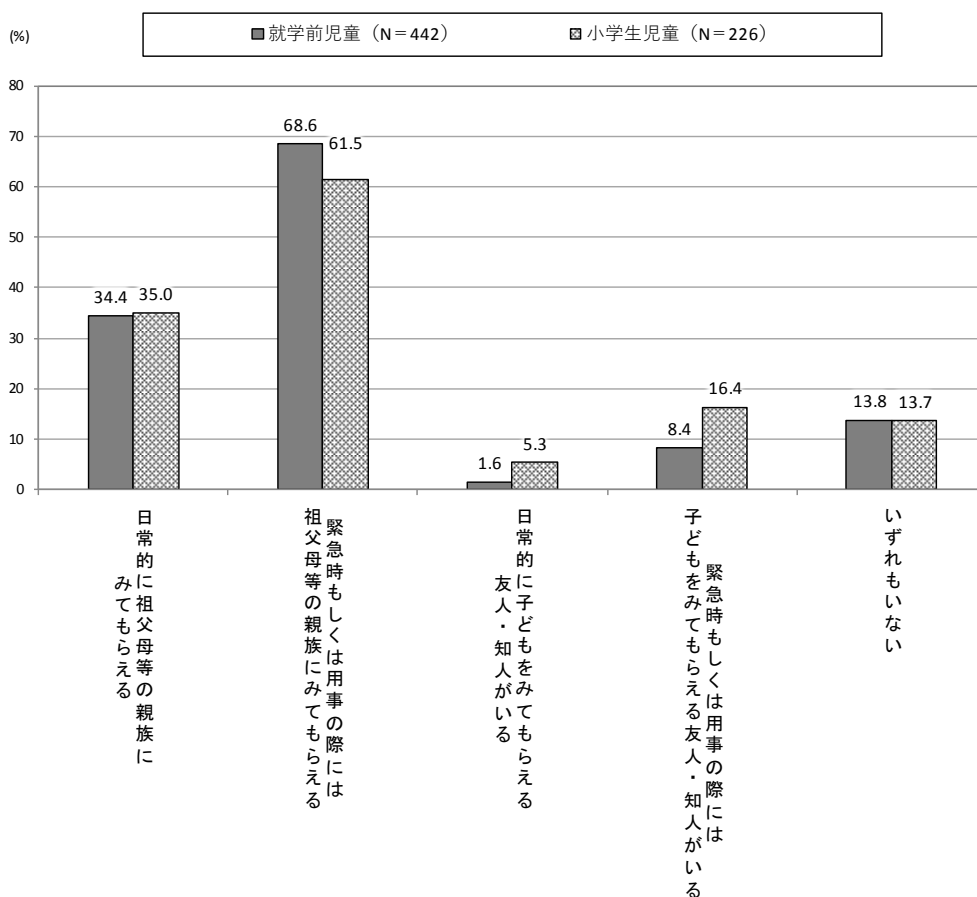
- 就学前児童は、「父母ともに」が95.2%と最も多く、次いで「保育所」が43.4%、「幼稚園」が26.9%となっています。
- 小学生児童は、「家庭」と「小学校」が92.9%と最も多く、次いで「地域」が34.5%、「放課後児童クラブ（なかよし会等）」が14.6%となっています。



(3) 親族や友人・知人に子どもをみてもらっている状況

設問 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

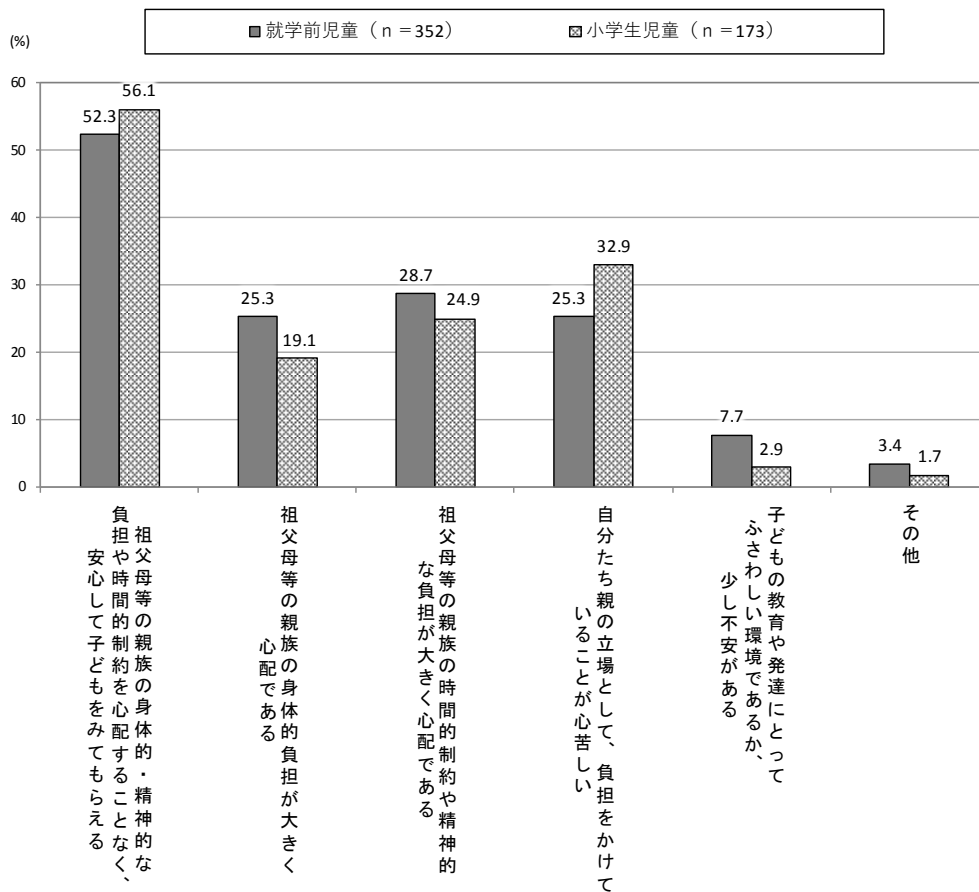
- 就学前児童は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が68.6%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が34.4%、「いずれもない」が13.8%となっています。
- 小学生児童は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が61.5%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が35.0%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が16.4%となっています。



設問 祖父母等の親戚にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 祖父母等の親族に子どもをみてもらっている方

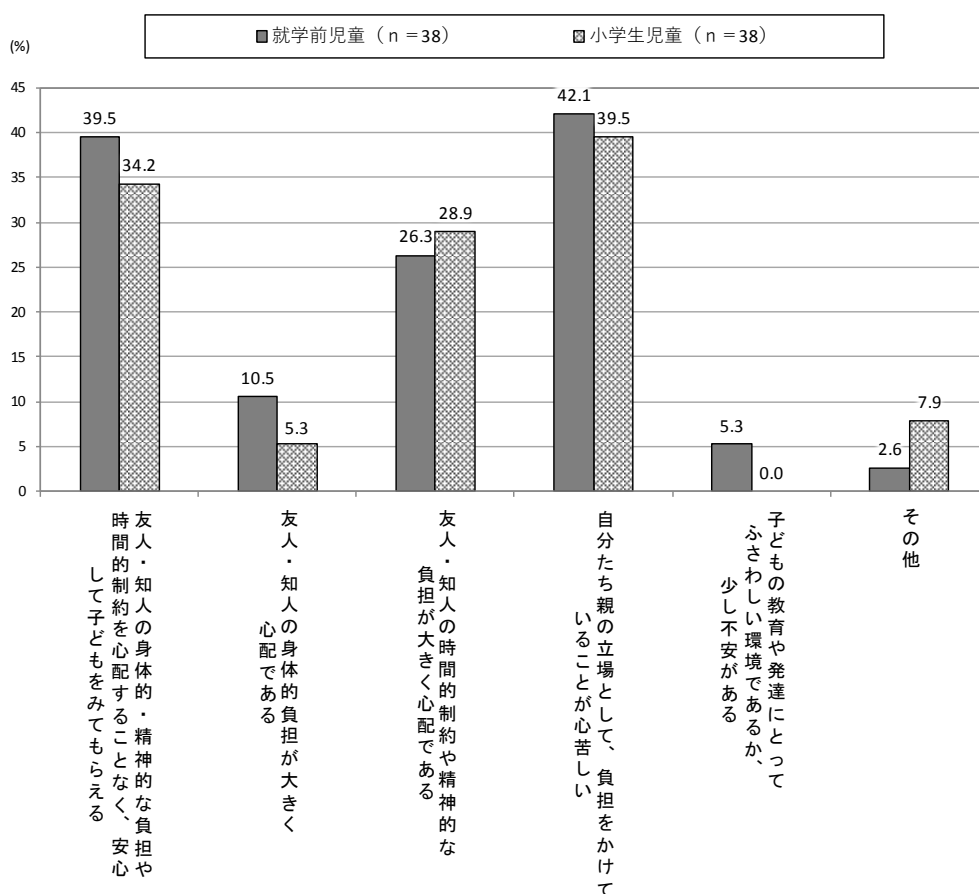
- 就学前児童は、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が52.3%と最も多くなっています。
- 小学生児童は、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が56.1%と最も高くなっています。



設問 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 友人・知人に子どもをみてもらっている方

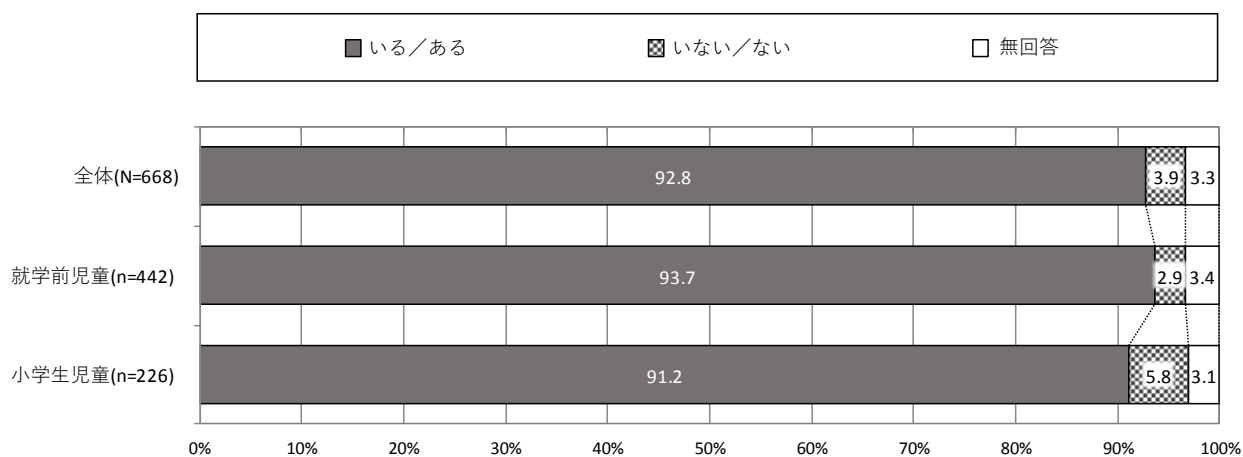
- 就学前児童は、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が42.1%と最も多く、次いで「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が39.5%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が26.3%となっています。
- 小学生児童は、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が39.5%と最も多く、次いで「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が34.2%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が28.9%となっています。



(4) 気軽に相談できる人や場所

設問 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。または相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- 全体では、気軽に相談できる人や場所は「いる／ある」が92.8%となっています。
- 就学前児童と小学生児童を比べると「いない／ない」と回答した人は小学生の方が多くなっています。

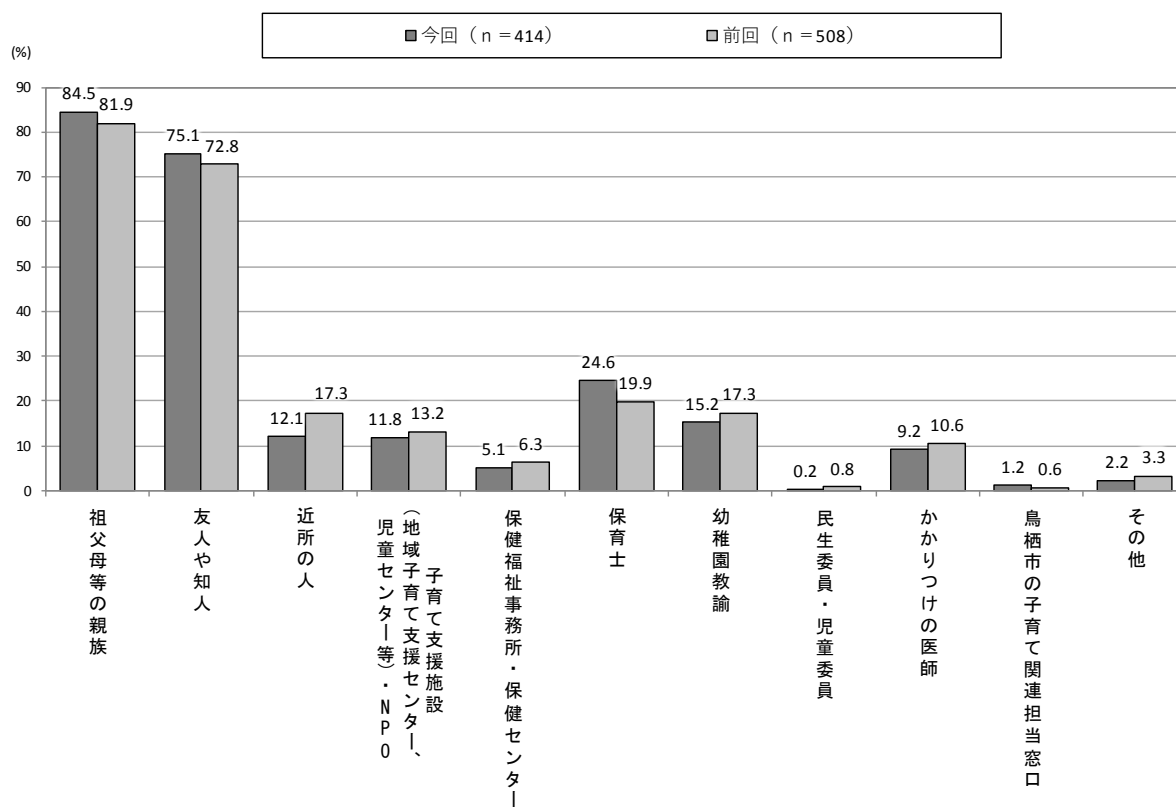


設問 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

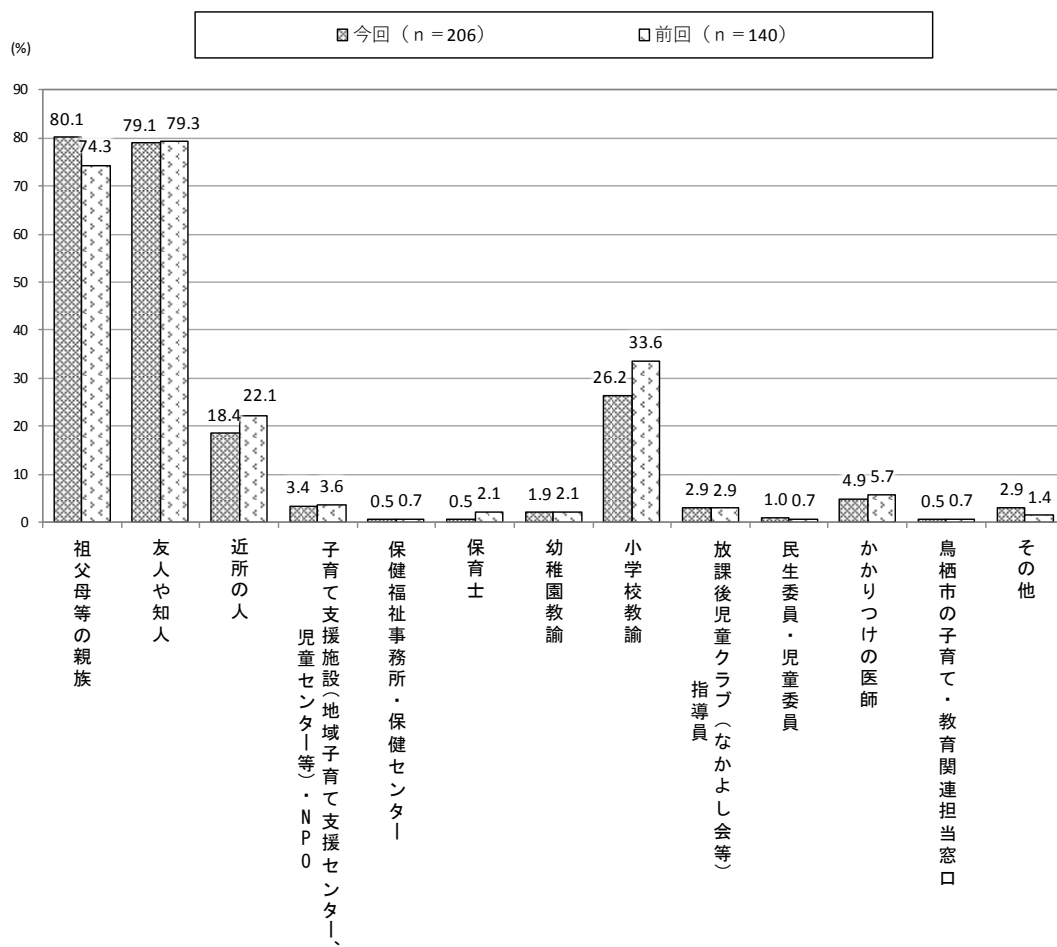
※ 気軽に相談できる人や場所がある方

- 就学前児童は、「祖父母等の親族」が84.5%と最も多く、次いで「友人や知人」が75.1%、「保育士」が24.6%となっています。
- 小学生児童は、「祖父母等の親族」が80.1%と最も多く、次いで「友人や知人」が79.1%、「小学校教諭」が26.2%となっています。

■ 就学前児童（前回調査と比較）



■ 小学生児童（前回調査との比較）



(5) 身近な人や行政からのサポート

設問 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

< 市全般について（就学前児童） >

今の環境、状況に不満はないので、特にありません。
現在の所、特に思いあたりません。
多数の意見ばかりをみて、参考にするのではなく、もっと一人ひとりの意見について、具体的に考えていただきたいです。そして解決して下さい。それが一番のサポートにもなると思います。時間を割いて聞くだけ聞いて、解決がないのは、意味ありません。
家庭でどのような方針を持って子育てをしているのかを把握する余裕を持って、サポートにあたって欲しい。

< 市全般について（小学生児童） >

現状で満足しています。特にありません。
サポートをお願いしたいことはあまりありませんが、道路沿いの家ばかりなので道幅が狭いの にスピードを出している車が多く、事故が心配です。

< 情報提供について（就学前児童） >

情報など、自宅に届くようにしてほしい
育児に対してのアドバイス等。
子育て情報が欲しい。子育て支援新着情報がネットで見れますが、スマホを見る時間もあまりないので「みんなで子育て」の冊子を市報と一緒にポストイングして欲しい。
共働き世帯なので、保育所等の情報は欲しい。
この鳥栖市での子育てで必要な学費。出身が関東なので、全く環境が違い、地域性がわからない。
赤ちゃん体操等、積極的に行っている支援センターもあるが、市のHPが更新されておらず、 情報発信力が弱い。
フリールームにたまに足を運んでいますが、行事等、知らないことも多く、情報が欲しい。イ ベントだけでなく、どういう教育が必要、いい等を検索しようにも何をどう検索すればいいか わからない。
月齢別に今すべき教育や使うべきおもちゃや絵本を教えてくれるセミナーの定期的な開催。
ネットや市報でのイベント告知。
同じ年齢の子を持っている親と色々な情報を交換する機会があり、特に今のところ問題無いと 思う。習い事の情報をもっと市報などにも載せて欲しい。
習い事等の情報提供。

休日や当番医などのホームページをすぐに検索・開けるようにしてほしい。更新されてなかったりするのを検索するのが大変。（耳鼻科等）

<情報提供について（小学生児童）>

鳥栖市は転勤族も多いのでそんな集いもあればいいと思う。どんどん子育てコーディネーターさん（行政担当者等）から魅力を発信していったらいいと思う。鳥栖市ならではの、子育て、教育に関するお役立ち情報、マップ、冊子があればいいと思う。

身近な人からのサポートは気を遣います。行政担当者などのサポートは予防接種の予告通知をしてもらえると嬉しい。

<相談支援について（就学前児童）>

土日に相談会をして欲しい。

気軽に相談できる場所。

気兼ねなく相談できる場所

もっと相談できる場所や遊ばせる場所が近くにあるといい。

ショッピングセンター等、日常的な場所に相談できる所があるといいです。

行政の子育て相談チャットがあればいいと思います。

定期的な面談の実施。半年に1回。

病院に行くべきか、様子見を続けるべきか、相談できる仕組みを作って欲しい。

発達に関する助言を頂ける、プロの方（保健師、保育士）

乳幼児のいる世帯への訪問（保健師、保育士等による）や、児童委員との顔合わせ等、出産前からのつながりがあると気軽に相談できるのではないかと思います。

訪問ヘルパーがあるように、無料相談訪問を年に1回もしくは半年に1回あるといいなと思う。出産したばかりの時期だけでなく、気軽に声をかけてくれると情報を教えてもらい、母親に精神的に不安感も減るかなと思う。特に、転勤族はどこから情報を？どこへ？という不安がいっぱい。

児童センターがあること、各子育て相談について子どもが7、8ヶ月になるまで知らなかった。保健師さんの訪問等で教えて欲しかったし、妊婦の時に行政からのメールでそういった催しについてお知らせするサービスがあれば、登録しておけば、子どもとずっと二人きりでいずに外に出て行けたかと思った。

3歳児健診等、必ず受けないといけない行事があると、そこで相談しやすい。自分から相談しに行くというのは難しい。

相談相手やちょっとしたことを話せる相手がいる人はいいが、いない人は子どもと2人きりなど閉ざされた環境になると思う。出産後、保健師さんの家庭訪問があるなど働きかけがあったが、その後は特に何もないので、何かしらコミュニケーションをとるシステムがあると相談などしやすいと思う。

家庭に来て下さる方は、担当者により相談しやすい方とそうでない方といるのでムラを無くし、親身に聞いて下さるといいと思う。ただ、訪問しているだけの方もいて、相談を聞き流されたことがある。

<相談支援について（小学生児童）>

行政担当者が子育てに関して何もなければサポートすることはないと思うのですが、受け身のサポート体制より積極的に働きかける体制の方が困っている人にとっても優しい対応だと思います。

行政等から定期的な聞き取りがあると心強い。親も初めての経験であるため教育については自問自答。

電話で市役所などに相談できる窓口あればいい。現実的には配偶者以外相談できる人はいない。具体的なアドバイスの前に、笑顔で接して下さると、悩みを話しやすいです。

気を遣った返答ではなく、本音を言ってほしい。

時間に関係なく相談できるところ

一年中どんな事でも親身に話を聞いて下さり、直ちに対応してくれるサポート

子どもの成長過程で、心配な事や、困ったことを話すことができるといいと思う。また、その内容によっては、どのように対応すべきか、したらよいかを教えてくれるサポートがあるいい。

小学生になるとママ友もほとんど仕事を始めるので、これまで気軽に相談できていたが、できない状況になる方も多い。職場等で相談できるならいいと思いますが、できない人への支援は児童手当の現況届提出時の等を利用して、情報を発信してはと思います。

我が家は祖父母が元気で日常的にみてもらえるが、親族や相談できる人が全く身近にいない人が突発的に預けたり、気軽に相談できる施設や窓口が必要だと思う。

話を聞いてもらえるだけで有難い。

不安があれば一人で考えずに夫やその他に聞ける人に尋ねるようにしているので十分です。

身近な人に気軽に話す。

<保育所、幼稚園等について（就学前児童）>

保育所数の増加

保育園の受け入れを増やす。また、入所検討の際の情報提供。（今よりもっと詳しく）

保育園、幼稚園事情について教えて欲しかった。今の園に不満があるが、お友達や環境に慣れてしまった為、転園させづらい。したくても出来ない。

保育園に預けにくかった。妊娠中に申し込んでおかないといけないのは、他の市とは異なるので、案内がいると思う。担当の人が相談しにくい。

保育園の保護者同士のコミュニケーションの場。

もう少し、幼稚園の未満児のクラスが欲しかった。兄弟の年齢が離れていて、働きたいが、選べなかった。

日祝でも保育園のように預けられる場所が近くにあるといい。

祝日も仕事の為、祝日の保育がないと仕事が出来ない。

保育園内で習い事をしてもらえる

習い事をさせたくても、平日フルタイムで仕事をしていると時間的に無理。園内や土日に実施してもらえると通わせやすい。（同じ場所で数種類）

<保育所、幼稚園等について（小学生児童）>

保育園の申込時に、シングルで身寄りもない事を伝えたが、「コネで就業証明を書いてもらっている方、結構いますよ。頼ってみたいかがですか。」と言われ、本当に一人だからコネなんてないのに。コネがある人こそ、子どもを預かってくれる身内が近くにいるということではないでしょうか、と伝えたら無言になりました。この事があってから、行政には届かないと思いました。

<学校について（小学生児童）>

登下校時に、子どもたちを見守って頂けると嬉しいです。子どものいる世帯が少ない地域に住んでいるので、毎日立ち番に立てず困っています。

学校まで遠く、バスでの登下校ですが、バスで帰る子が少なく、学年によっては一人で帰る子がいることが心配です。

不登校になった時の学校以外の居場所づくり

<子育て支援センターや児童センターについて（就学前児童）>

子育て支援センターが日曜も開いていたらいい。基山のいこいの家は開いているのでよく行く。

子育て支援センターは子どもメインなので、母親がメインになるような環境を整えて欲しい。毎日、母と子のみの生活で息が詰まる時がある。母親の息抜きの時間、趣味の時間を持ちたい。市主催の講座に参加したことがあるが、託児もなく、他の参加者の方の了解を得て、おんぶして参加しました。泣かないように努力したり、子連れなので作業に集中できず、それでも息抜きしたくて参加しました。有料託児を利用してまで、参加しようとは考えていません。

土日祝にも開いている、子育て支援センター等があると助かります。

支援センター等は早く閉まってしまう為、子どもがまだ保育園に行っていなかった時、夕方とても心細かった。なので、18時頃まで開いている支援センター、児童センターが市内にあると必ず利用するのになと思う。

思ったより育児は不安や孤独を感じる事が多いので、近所の方々の気軽な声かけや支援センターで話を聞いてもらえることが嬉しかったりします。なので、地元の方との交流の機会（色々な世代との交流）があると親子共に刺激になっていいかなと思います。

祖父母のような年齢の方が保育士という環境（児童センター）。

<子育て支援センターや児童センターについて（小学生児童）>

未就園児の時は、子育て支援センターの存在はありがたいです。

児童センターのような安心して子どもが遊びに行ける場所が日常的に必要なである。

<地域の子育てに関する支援事業について（就学前児童）>

乳児健診の回数増。（1歳半、3歳のみは少ない）
市による夕方以降のベビーシッター制度（市の補助があると嬉しい・食事を含む）
以前あった支援センターからの家庭訪問は、家から出るのをためらう方等にはいいと思います。
保健センターの方が、子どもが新生児の時に家に訪問してくれたが、1歳になるくらいまで数回訪問してくれると有難いと思いました。小さい子を連れて外出するのが難しいと感じましたし、特に平成30年の夏は暑さが厳しくほとんど外出できなかったのです。
親の息抜き、ストレス発散のサポート。例えば、保育所ですぐに迎えに来て等のプレッシャーがある。受け取る親の考え方にもよると思うが…。
子育てサポート、子育て施設を利用したことがなく、どのように利用したらいいのかあまりわからず不安。
初めての子育てで、離乳食の進め方がよくわからないことがあります。ネットや本、友人に相談はできますが、2、3ヶ月に一度程、保健センターで体験教室を開いて欲しいです。7ヶ月に自宅訪問があると聞いていたのですが、来ていただけませんでした。今はもう9ヶ月半です。一対一で相談できる機会は少ないので、自宅訪問を増やして欲しいです。
子育て支援施設などのソーシャルサポートを利用することがあまりない為、よくわからない。
自分が病気になった時、子どもの事、家事等をしてもらえるととても有難いです。
家事手伝い
一日自由になれるサポート。ゆっくり買い物や美容室に行きたい。夕食や昼食をつくってもらいたい。料理が苦手。
1歳前後でも家庭訪問して欲しい。
送迎タクシー
送迎のサポート
習い事送迎

<地域の子育てに関する支援事業について（小学生児童）>

子育ての心配などを雑談しながらでも話せる場があれば大丈夫。センター公園が出会いの場。（施設を充実させて欲しい。）
母子家庭なので、もし私が病気になった時などを考えると心配です。
子育て中はどうしても孤独になりやすし。一人で出かけられることすらできない。ママの習い事もできない。子ども連れでできるワークショップや、託児所付の講演会、ママ向けのワークショップをもっと増やして欲しい。もちろん無料で。一人で家にこもっているママは多い。興味のある事なら外に出ていきかけになり、子育ても楽しめるはずです。
祝日などの休みも仕事があるので、連休が続くと調整や支援を依頼しなければならず、対応に苦慮する。親族間でどうにか現場調整はしているが、カレンダー通りの休みがない親には負担が大きく感じる。行政などのフォーマルな受け皿の枠も多くはないと感じる。
鳥栖市にファミリー・サポート・センターがあるのはいいのですが、事前研修などしないといけませんので面倒です。気軽に利用できないと思います。
ファミリーサポートセンターも、学校近くでないため利用しづらい。

<病気の時の対応について（就学前児童）>

病児保育の充実（子どもが体調を崩すと、どちらかの親が仕事を休まないといけないため）
病児保育を増やして欲しい。
病児保育の誘致
病児保育。（事前予約なし）病児保育の定員が少ない。近隣に施設がない。
子どもが病気の時に預かってくれる環境
働いていると病気の時が大変。病児保育が市内に欲しい。小児科内に設置されていると安心できる。
共働きなので、病気の時や迎えが間に合わない時に、手助けしてもらえれば助かる。
仕事をしていますが、子どもが病気になると他に預ける人がいなくて仕事を休まないといけなくなる。病後児保育を利用するにも、医師の診断書等、必要書類があり、簡単には利用できない。もっとスムーズに病後児保育が利用できるようになったら便利だと思う。
小さい子が3人いるので、一人が病気をした時等、すぐに病院に連れていけないので、そういう時にすぐに来ていただけたら助かります。
母と子どもどちらも体調不良で、父親が不在の時、病院への送迎や必要な物を代わりに買ってきてくれる方がいてくれると助かります。（有料でも可）
急な病気が多いので、鳥栖市内でも夜間、土日、祝日に診察してくれる病院がもっとあって欲しい。聖マリアや東佐賀等、遠方へ行き、更に何時間も待たなくてはならないので、困る時があった。看者がたくさんの中に幼児を数時間待たせてしまう方が悪化しないかと心配になりました。市内にあるととても助かります。

<病気の時の対応について（小学生児童）>

病院などでも預かってくれる施設が増えたらいいなと思う。
病気の子どものいる家庭へのサポート。
共働きのため、子どもの病気の時が一番困る。小学生の病児をみてもらえると助かる。今は職場に都合をつけてもらっている。
仕事をしているので、病児保育や病気の子を少しの間みてもらえる専門の施設があれば助かります。（長期でなくても、発生した日の学校から、親が帰宅するまでの間でも、そういった施設があると助かる。）
病児保育、以前いた市には施設をもつ病院がいくつかあり大変助かっていた。
病院内病児保育、子どもが病気でも仕事が休めない場合の一時入院のような保育。（保育所内病児保育は安全面が怖い。）

<一時預かりについて（就学前児童）>

未就園児でも気軽に預けられるシステムがあるといいと思います。兄弟児の急な発熱等で小児科に行くのに、当日申し込みでも預かってくれると助かります。休日預かり等も。母親リフレッシュという名目ではまだまだ一時預かりお願いをしにくい気風があるので、それ専門の預かりシステムがあると利用しやすいです。
--

<p>病児と雪や雨など保育園（学校）が休みになった際の預け先がない。近所に預かってくれるサポートが欲しいです。</p>
<p>子どもを預けたいと思った当日や前日に預かってくれるようなシステムがあると助かります。</p>
<p>近くに子どもを預けたり、お世話をしてくれる知人が誰もいないので、自分が急に病気になってしまった時に、すぐに子どもを預けられたり、お世話をしてくれるようなサポートがあればいいなと思います。</p>
<p>何かあれば気軽に子どもを預けられる場所。現在は色々な制限が多すぎる気がします。</p>
<p>用事がある時、1時間からでも気軽に預けられる所があれば助かると思う。現在、仕組み等、よくわからない。</p>
<p>一時預かり料金のサポート</p>
<p>緊急時に預かってくれるサポート。</p>
<p>一時預かりの増加</p>
<p>気軽に短時間預けられる場所があると助かる。</p>
<p>サポートセンターに登録しなくても、気軽に子どもを預けられる場所があれば、すごく助かると思います。</p>
<p>短時間でも預かってくれる所があれば嬉しい。</p>
<p>用事等で出かけた時に、0歳でも預かってもらえる所がたくさんあると嬉しいです。</p>
<p>PTA 活動等、夜間の外出がある時の預かり場所があると安心。小学生と幼稚園児での留守番は危険なので。</p>
<p>子どもの面倒をみてくれる人がいないのは、本当に大変。自分の病院でやっと父親に交代できるくらいだった。特別な用事がなくても、月に2回くらい、2時間程、自由時間をもらいたかった。市役所から3歳くらいの子どもの親向けに「ファミリーサポート券」を発行して、月2回程、ファミリーサポートの人達に費用の負担なく、子どもをみてもらえたら嬉しい。</p>
<p>少し外出するときにもてもらえること。ファミリーサポートの存在を先日知ったが、お金がかかるので、利用しづらい。</p>
<p>長期休日中の子どもを預けられる施設が身近にあると嬉しい。</p>
<p>緊急時や用事の際、気軽に子どもを預けられる所があれば嬉しい。ファミリーサポートセンターを利用するのは少し不安。</p>
<p>緊急時、用事がある時等、気軽にお願ひできるサポートがあると助かります。</p>
<p>緊急で人が家にいない時の預かりをお願いできる公的な施設があればと思う。未就学児以上でも触れ合える場が必要ではないかと思う。</p>
<p>仕事が終わるまでの預かり。台風等の災害での急な休みの対応。</p>
<p>急用時、子どもを預かってもらえなくて、困っている方がいました。いつでも対応してもらえる場所があるといいと思いました。</p>
<p>日中は何かあってもどうにか対応してくれる人力制度があるが、本当に困るのは休日や夜間が多いため、緊急時に頼れるところがあると助かるなと思います。</p>

近くに親族がおらず、父親が仕事の都合で帰宅しない為、自分の身に何かあった（事故や大病）時のことを考えると、不安。普段利用する必要がない分、もしもの時に備えて、施設の一時預かり等の情報がオープンになっていると、有難いです。

<一時預かりについて（小学生児童）>

祖父母に預けたりできない場合、助け合えるようなのがあれば助かると思います。

急な用事が入った時に、預けられる施設があればいい。

緊急時にすぐに預ける事ができる施設が欲しいです。

残業や長期病気（インフルエンザ等）で休まないといけない時に、子どもを預かってくれる場所の提供

共働きですが、同居しているので急な用事や子どもの体調が悪い時には祖父母の協力がありません。しかし、周りの友人は仕事が祝祭日、お盆、正月も出勤する仕事なので、保育園、学校が休みで預け先が無い人も多い。そういう時にみてる場所があると助かる。

今は二人とも小学生なので小4の姉がいれば小2の弟も留守番できますが、下の子が園児の時は急に病気になった時や、宿泊を伴う仕事の時、知人、友人にもそう簡単には頼れず、大変でした。手続きが簡単で、しかも責任をもって預かってくださる緊急時の保育窓口が市役所の近くなどにあれば助かったかもしれません。

母親が働いていなくても気軽に子どもを預けることができる施設が欲しい。

特に、小さいころ（子どもが手がかり、親にべったりの頃）こそ、少し親と離れる時間が母親には必要だと思う。1～2時間でいいから、子どもと離れて家の事をしたい。ゆっくりしたいと思っている母親は多いと思う。無料で子どもが遊べて、見守ってくれる人がいるところに預けられると助かります。身内だと気を使って預けづらい事もある。

<放課後児童クラブについて（就学前児童）>

共働きの為、学童等がさらに充実して頂ければと思います。

民間学童保育の誘致。

<放課後児童クラブについて（小学生児童）>

小学校の学童や学び教室などの増員や配置

学童保育の基準が高く、時間の多発する昨今においてはパートや仕事から帰るまで留守番をさせるには不安があります。基準が下がればいいと思う。

なかよし会の預ける時間の延長時間の開始時刻を 18：30 にして欲しい。18：00（現状）～延長となると、仕事の勤務時間（通勤含む）によって、延長をやむを得えなくなり、制限が出てくる。

子どもをなかよし会から習い事に行かせたいが、16時半を過ぎると自分で帰ることができないため、すぐそこなのに誰かに頼んでお迎えをしてもらっています。子どもたちの安全のため承知していますが、体育館までは行かせてもらえると精神的負担が少なくなるかなと思います。

<p>12月に前職を退職し次の仕事につくまで2ヶ月ぐらいかかった。しかし放課後児童クラブからは1月12日までに次の仕事を見つけないと放課後クラブを退会することになると言われた。年末年始でまともに求職活動ができる状態じゃないのは誰がみても明らかなのによくそんなことが言えるなと思った。保育園は求職活動期間を3ヶ月設けているのに、なかよし会は短すぎる。保育園と同じ3ヶ月としてほしい。せっかく次の職を見つけてなかよし会に申請しても結局キャンセル待ちをすることになり、1年間入会できず、職場にも迷惑をかける羽目になった。</p>
<p>昨年の2月末に県内から鳥栖市へ引越しました。共働きで放課後児童クラブの手続きを申込、約5ヶ月後に入会することができました。入会するまでの間、祖母助けを借りたりしましたが、だれも都合がつかないときは、小学校に入学した後も16時頃まで一人で留守番させてしまう時もありました。娘にはさみしい思いをさせてしまいました。もう少し、子どもを預かる施設やスタッフの確保を検討していただければ幸いです。</p>

<子どもの遊び場・公園や図書館等について（就学前児童）>

子ども達が安心して遊べる公園
小さい子と遊べる、広くて大きい公園が市内にはない。
子ども同士で遊べる場を作って欲しい。
市内の公園の整備が不十分だと感じます。中央公園は、砂場にネコの糞が常に有り不衛生。ブランコの足元にすぐ雨水、枯れ葉がたまり子どもが遊べない。
雨の日の遊戯場がない。
平日はいいが、土日に遊べる場所（屋内）がもっとあるといい。毎週ではなくとも、隔週でもいいので。
駐車場が広く整備された公園があるといい。個人的には上記の内容に関して充実していると思います。さらなる充実を望みます。

<子どもの遊び場・公園や図書館等について（小学生児童）>

放課後自宅付近で遊べる場所、宿泊や勉強ができる場所があるといい。
放課後、安全に安心して遊べる施設が地域ごとにあるといいです。
公園や図書館、子どもだけでも遊べる場所が近所があれば助かります。
両親共に働いている時に、公民館等で遊ばせてもらえる様な場所が欲しい。（春・夏・冬休み等）
今は昔と違って、近所の人子どもをみたり一緒に遊んだり怒ったりする時代ではないと思う。学校終了後に外で遊んでいる子ども達も少なく、家にいる子が多いように感じる。各地区空家、空きスペースを利用して下校後子ども達が気軽に立ち寄れる場所を作り、そこで子ども達が宿題が出来る環境等があっていいと思う。（無料）そこに行けばお友達もいるし宿題も出来るという環境。

外遊びができる場所がある支援センターがたくさんあると嬉しいです。公園も小さい子が遊びやすい遊具があり、駐車場があるような大きな公園が市内に少なく、あったとしても発信が少なく知る機会が少ないので利用したい人に届いていないと思う。
小学生の子どもが、放課後いつも利用できる遊び場。近くの公民館など。例えば、下の子が予防接種等で不在の場合、なかよし会などもあまり利用できない場合、子どもがいる場所が無いので。（学校の教室の一部でもいい。）・保育園でも送迎バスがあるといい。産休中の利用ができるなど制限があってもいい。
小学校高学年のため放課後児童クラブなどは利用していませんが、長い休みがあると兄弟もいないため一人で留守番をさせています。自由に入って利用できる児童館などがあれば利用させたい。以前利用していた児童センターは中学生までしか利用できないため、そういったサポートがあると助かる。
小学生の宿題はとても多く、それを一緒にみてくれる方、教えてくれる方がいたら有難いと思います。
共働き家庭の小学生の放課後のサービスの充実化。
行政担当者、自然や体を使った遊びを企画して欲しい。

<仕事について（就学前児童）>

共働きで時間制約が多い中で、皆、育児をやっている為、体力的、精神的負担が大きい。なぜ自分だけがこんなに苦労しなければならないのかと自問自答することが増え、余計に心身に負荷をかけている。このような状況に当てはまる家庭が数多くみられることから、まずは同じ環境にいる親同士でコミュニティを気軽に作れる場を設けてもらいたい。
--

<経済的な支援について（就学前児童）>

金銭的サポート。子どもが通いたい習い事も通わせてあげられない状況なので。
金銭的なサポートがあれば有難い。
給付金等
将来の学費の為、給与金額を増やして欲しい。
医療費の助成や保育料の助成が欲しい。
医療費無料
医療費の無料化
医療費の全面無償化。
将来的な金銭面の不安はあるので、来年度に控えた無償化のような政策が一番助かります。
子育てに関する費用等。収入による規定は無くすこと。子どもは全員平等です。高収入者に対する不平等を感じているのですべての子どもを育てている家庭は教育面は無償化し、学力を全体的に同じように上げることで子どもの学力が上がると思う。

<経済的な支援について（小学生児童）>

毎月請求がくる教材費や給食費を無料にして欲しい。全額は無理だとしても、第2、3子の教材費の免除や援助をもっとして欲しい。主に金銭面で心配しないでいいようにして欲しい。
子どもを塾に行かせたいが、手当金が少ないので、全員を平等に行かせられない。
子どもの医療費助成。休日診療。以前居住していた市は18歳まで全額助成されていた。同様のシステムがあればいいと思う。

<地域とのつながりについて（就学前児童）>

登下校の見守り、地域の行事（子ども向けのもの）
声掛けをしてもらい、安心感をもらえれば。
サポートというより、地域、学校にしても役が多すぎるので負担をなくせないものか…。
実家が遠いので、地域に協力してもらえる環境を築きたいが、できておらず、困ることが多い。
緊急時だけでも預かってもらえる関係性を築く、声を掛けやすい雰囲気。
近所のおかあさん、おばあちゃんのボランティア（短時間の子守り等）
小さなことでも話せる身近な人との関係性。悩みの打ち明け、情報収集ができる友人関係。
イベントを通しての友人作りの場。
様々な年代の人と関われるような機会、イベント、交流会が欲しい。めぐみ保育園の赤ちゃんスイッチや中学校サロン、すごくよかった。高校、大学、老人ホーム等でもやってもらえたらすごく楽しいのになと思った。
母親が交流できるようなイベント等、ママ会みたいなものがあれば、もっと外にも出やすいし、近所の人に頼れることができると思う。
できれば住んでいる地区での子育てしている世代で集まりやすい環境が欲しい。
家で一人で子育てしている人もいるかもしれないので、ママ友の集まりの案内をしてもらえる嬉しい。
近所に同年代の子がいるかどうかの情報やその人達と知り合える場の提供があるといいと思う。就学前は家庭保育や保育所、幼稚園等、利用する場が異なり、知り合える場がない。保健センターの集団健診を地区ごとに受診日を設定したり、地区の公民館で巡回相談をする等、その地区の母子保健推進員さんが参加する等で、コミュニティ内の母子を孤立させない工夫があるとよい。
同じ年齢の子ども達との触れ合いの場。同じ保育園の子どもとの触れ合いはあっても、ママ友、先生など、これから年長まで付き合っていくので、思っていることが言えないことがある。なので、他の園の子、親子さんと触れ合う場が欲しいと思います。
生後何ヶ月等、同年代の集まりが増えたらいいと思う。集まりの案内は市報等の掲示だけでなく、直接各家庭に郵送していただいた方が興味を持てると思う。
祖父母だけでなく、近所でもフォローがあったらいいなと思った。両親ともに佐賀市内の職場で、祖母は仕事をしているので急な頼みごとがしづらい。
祖父母が元気でよく子どもを預かってくれるので、大変助かっています。母親にとって気軽に預ける場所、人がいることは精神的に大変助かります。

一番助かったのは、私の両親に、私が買い物に行く時にみてもらえる事。土曜日は数時間子どもと離れる時間をもらっている事。

<地域とのつながりについて（小学生児童）>

私たちの住んでいる地区は、今はまだ元気なおじいちゃんやおばあちゃんがいて、自分達の孫のように大事にしてくれているので、今はとても有難くて満足しています。

やはり犯罪が一番怖いので近所の方々やご年配の方々の見守りや見回りがあると安心して働きに行けます。

地域コミュニティがより身近な存在になり、子育て支援がより充実し、利用しやすくなると助かります。

地域の方たちとの交流の場、放課後の遊び場づくり。囲碁やそろばんを教えてくれると嬉しい。

<その他（就学前児童）>

よく分かりません。

わからない

思いつかない。

食べづかみ指導、姿勢の指導

悪い事は悪いと教えて欲しい。良い事は褒めてあげて欲しい。

子どもの脳に良いとのこと。

休みの日に一緒に子どもと遊んで欲しい。

家庭ではみられないような事を中心として、気づいた事全般。

自然系おもちゃの作成体験。（県産材使用）プレゼントで下さい。

子どもの成長がわかるような月単位の記録。

<その他（小学生児童）>

今のところありません。

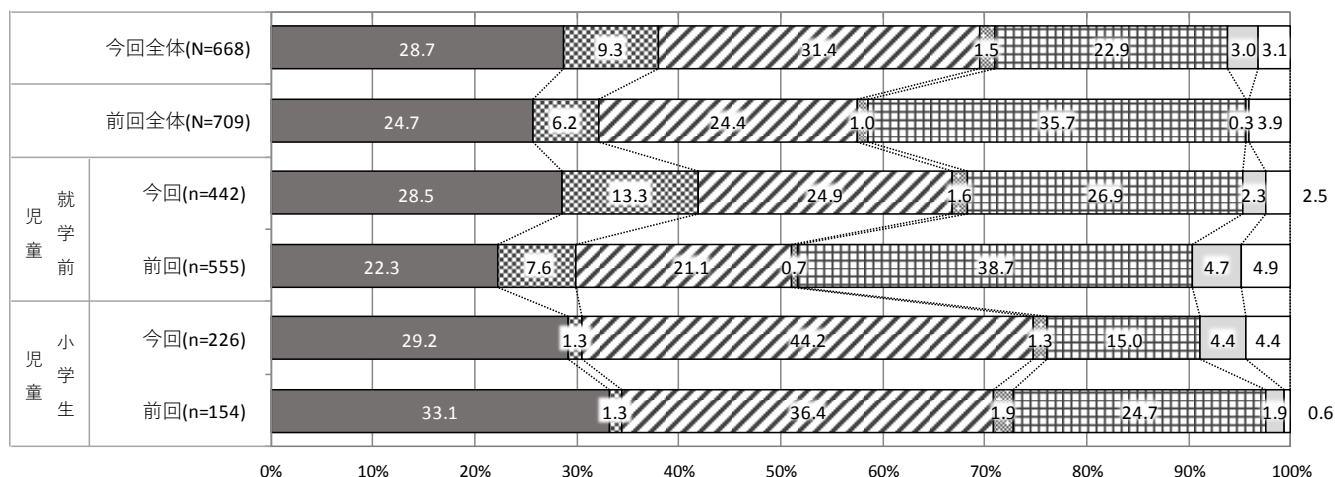
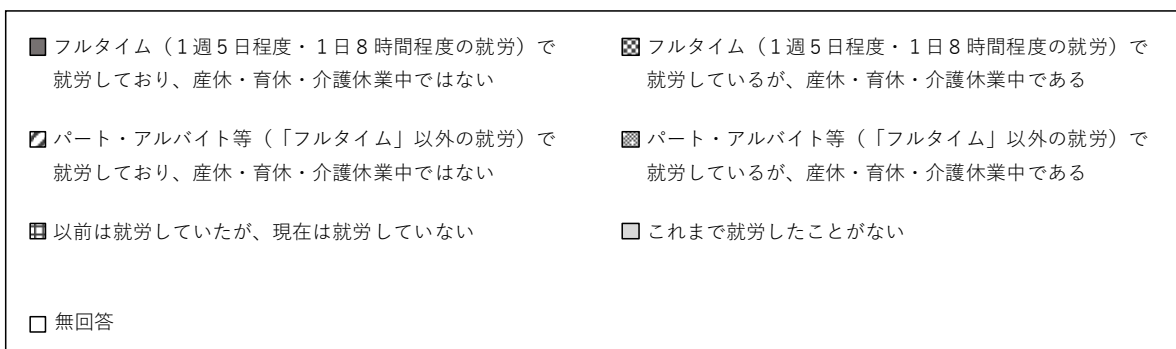
4. お子さんの保護者の就労状況について

(1) 就労状況

設問 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【母親の就労状況】

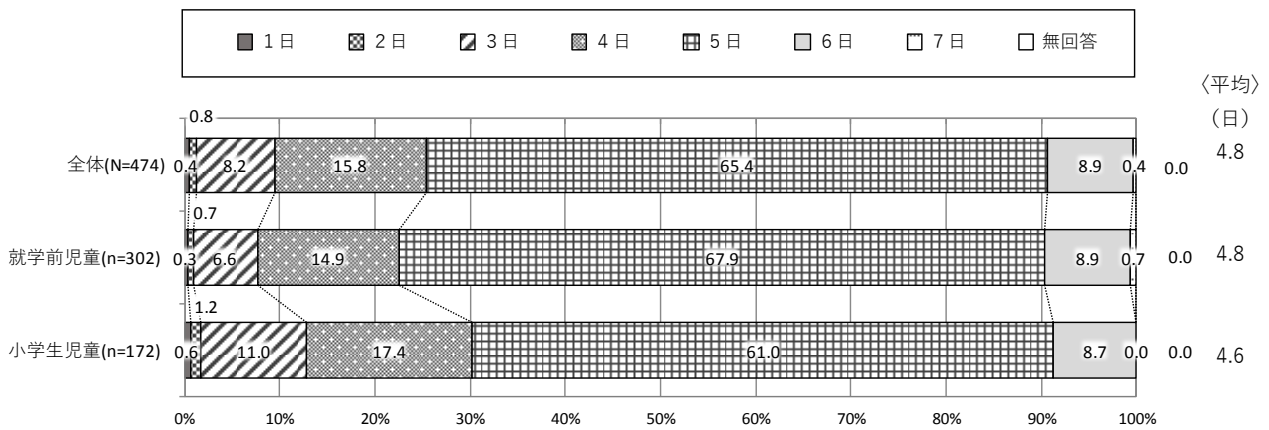
- 今回全体では、「フルタイムで就労」している割合が38.0%、そのうち「産休・育休・介護休業中でない」が28.7%となっています。また、「パート・アルバイト等で就労」している割合は32.9%、そのうち「産休・育休・介護休業中ではない」が31.4%となっています。
- 前回全体と比較すると、就労している割合と産休・育休・介護休業中である割合は増加しています。
- 就学前児童は、前回と比較すると「以前は就労していたが、現在は就労していない」割合は大きく減少しています。
- 小学生児童は、「フルタイムで就労」している割合が減少し、「パート・アルバイト等で就労」している割合が増加しています。



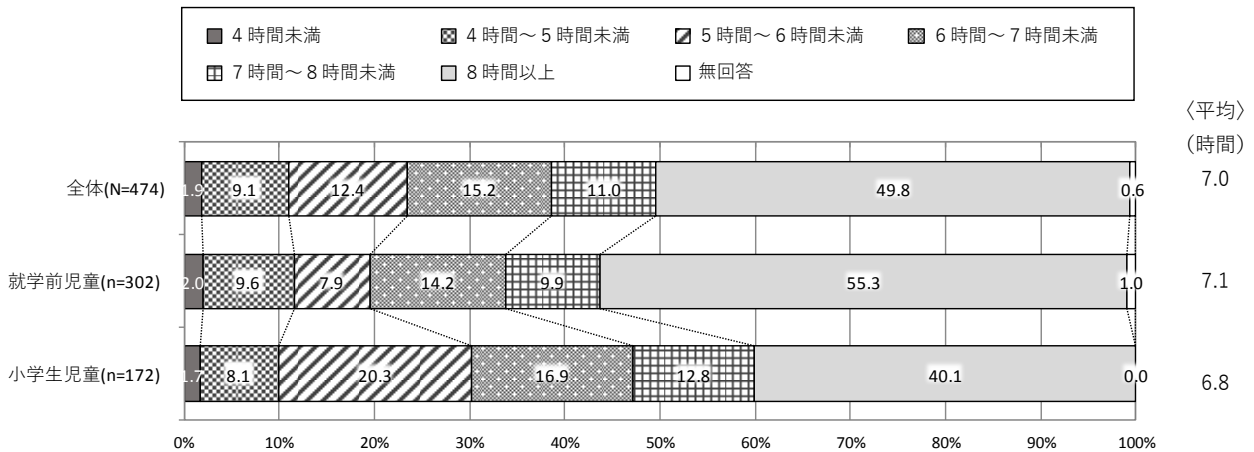
【就労している母親の1週当たりの就労日数と1日当たりの就労時間（残業時間を含む）】

- 就労している母親の1週当たりの就労日数は、全体では「5日」が65.4%と最も多く、次いで「4日」が15.8%、「6日」が8.9%であり、平均で4.8日となっています。
- 就労している母親の1日当たりの就労時間は、全体では「8時間以上」が49.8%と最も多く、次いで「6時間～7時間未満」が15.2%、「5時間～6時間未満」が12.4%であり、平均で7時間となっています。

■ 1週当たりの就労日数



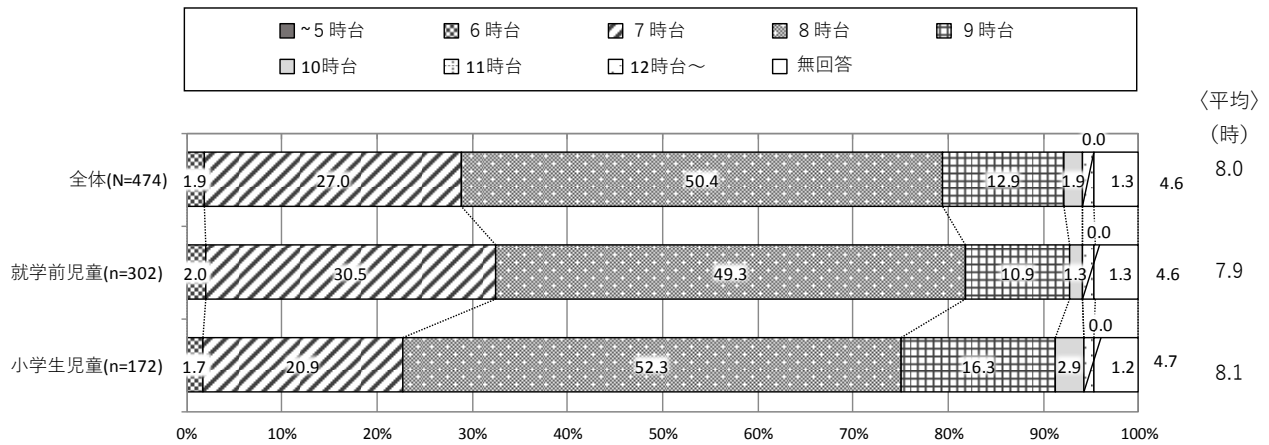
■ 1日当たりの就労時間



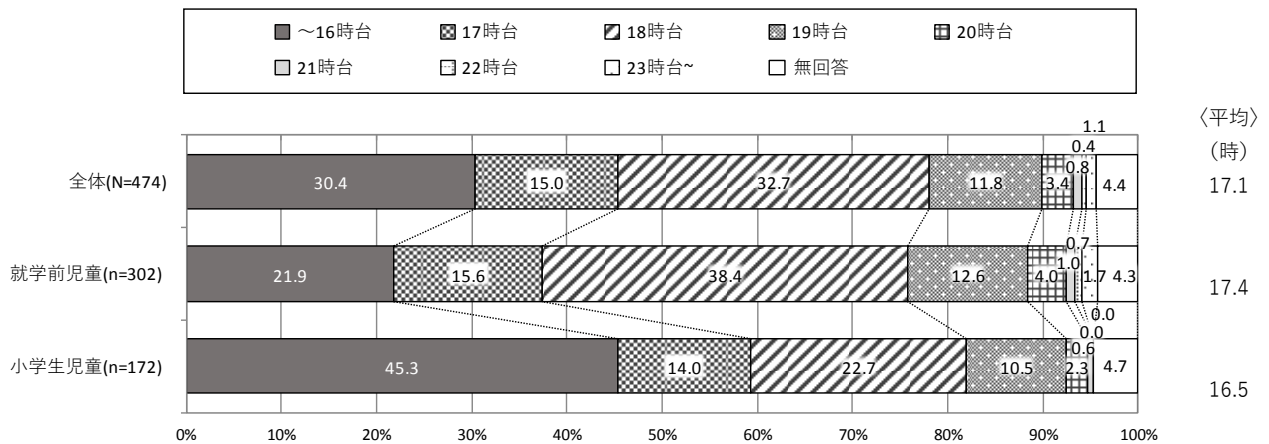
【就労している母親の家を出る時刻と帰宅時刻】

- 就労している母親の家を出る時刻は、「8時台」が50.4%と最も多く、次いで「7時台」が27.0%、「9時台」が12.9%であり、平均で8時となっています。
- 就労している母親の帰宅時刻は、「18時台」が32.7%と最も多く、次いで「～16時台」が30.4%、「17時台」が15.0%となっており、就学前児童と小学生児童を比較すると、就学前児童の方が帰宅時刻が遅い傾向にあります。

■ 家を出る時刻

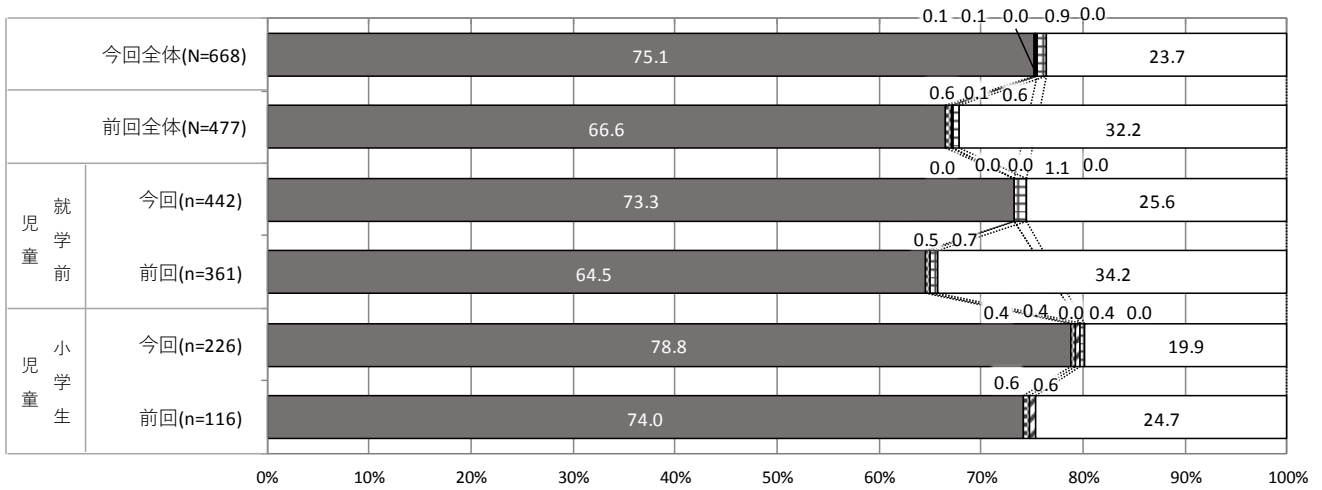
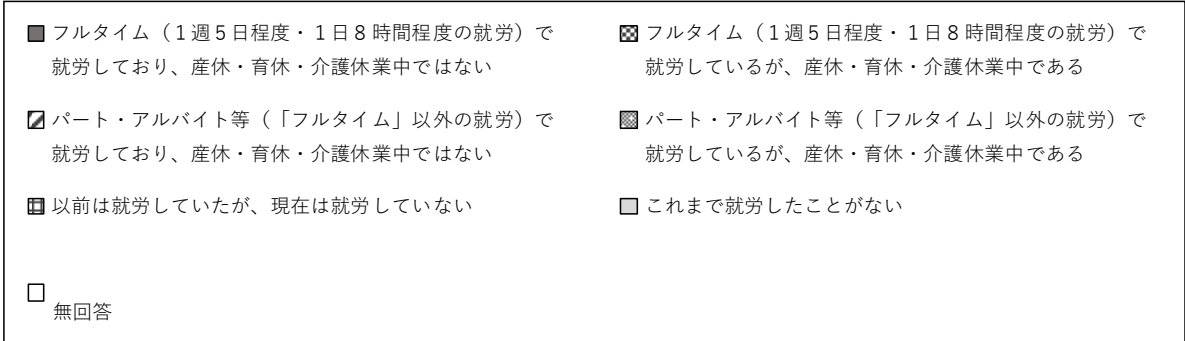


■ 帰宅時刻



【父親の就労状況】

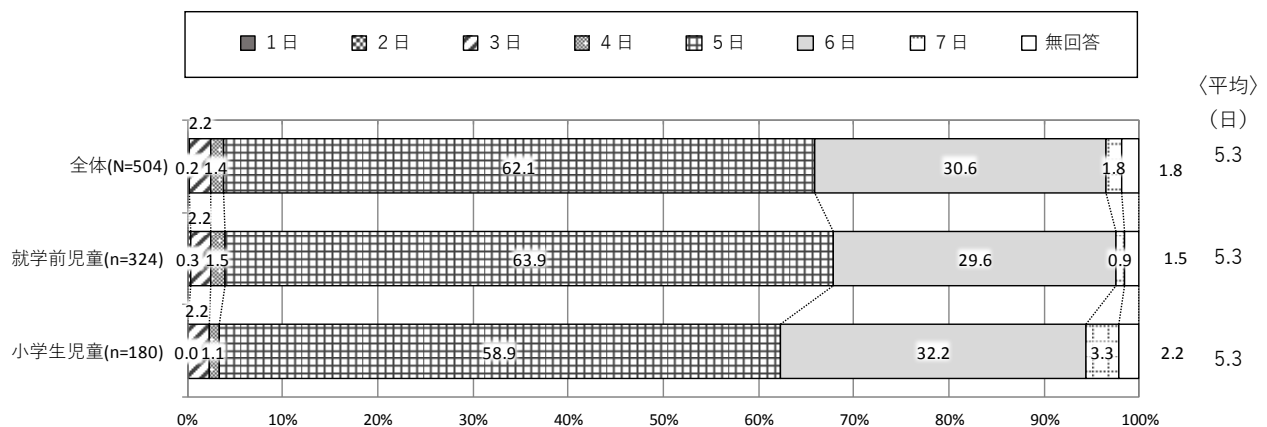
- 全体では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 75.1% と最も多くなっています。



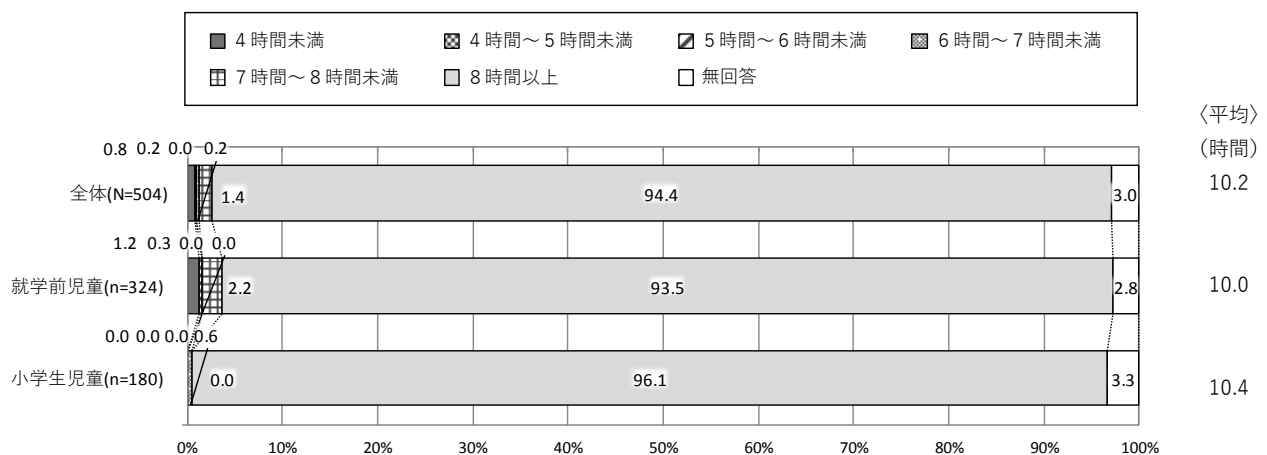
【就労している父親の1週当たりの就労日数と1日当たりの就労時間（残業時間を含む）】

- 就労している父親の1週当たりの就労日数は、全体では「5日」が62.1%と最も多く、次いで「6日」が30.6%であり、平均で5.3日となっています。
- 就労している父親の1日当たりの就労時間は、全体では「8時間以上」が94.4%と最も多くなっています。

■ 1週当たりの就労日数



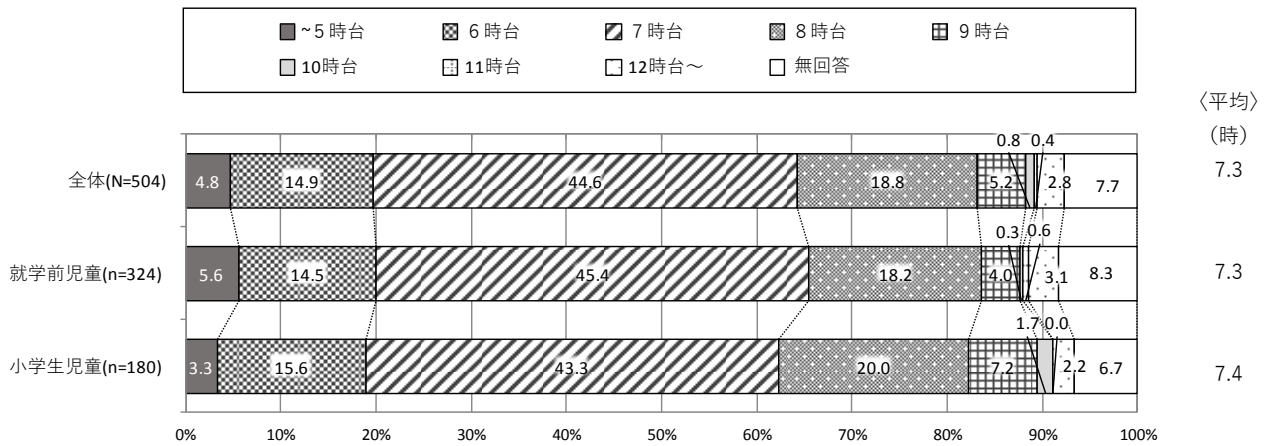
■ 1日当たりの就労時間



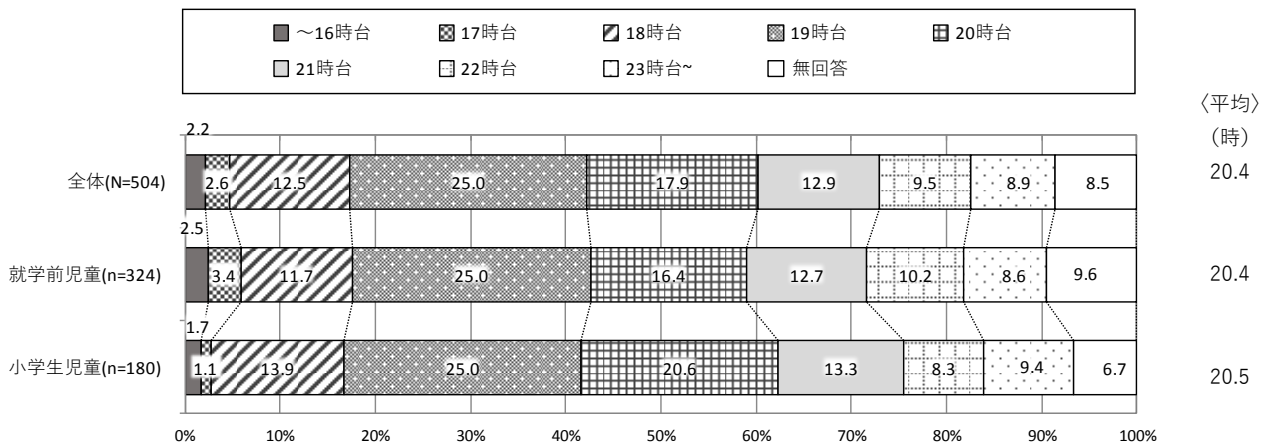
【就労している父親の家を出る時刻と帰宅時刻】

- 就労している父親の家を出る時刻は、「7時台」が44.6%と最も多く、次いで「8時台」が18.8%、「6時台」が14.9%であり、平均で7時18分となっています。
- 就労している父親の帰宅時刻は、「19時台」が25.0%と最も多く、次いで「20時台」が17.9%、「21時台」が12.9%となっており、平均で20時24分となっています。

■ 家を出る時刻



■ 帰宅時刻



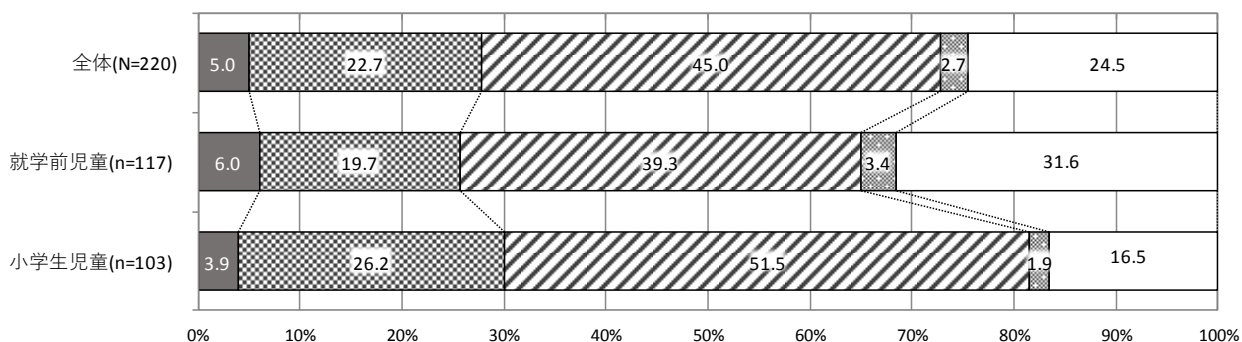
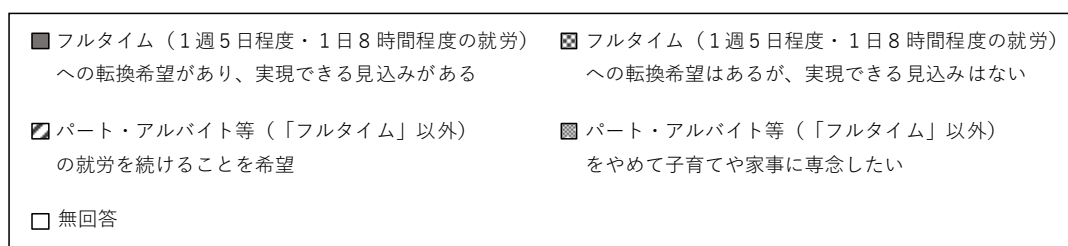
(2) フルタイムへの転換希望

設問 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ パート・アルバイト等で就労している方

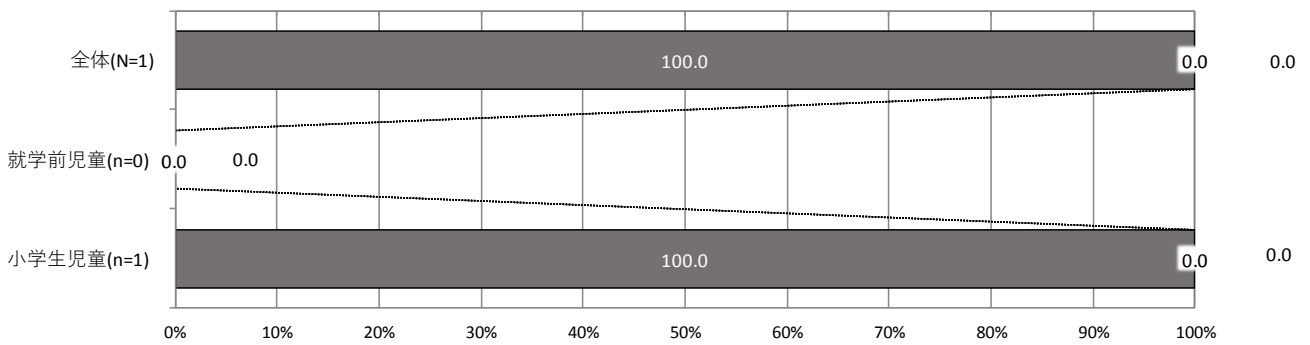
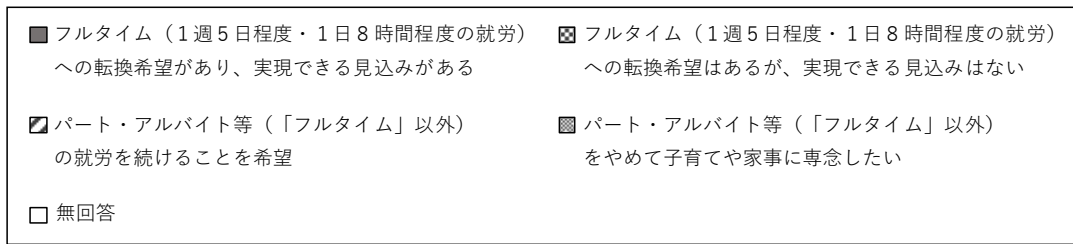
【母親】

- 全体では、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が45.0%と最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が22.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が5.0%となっています。
- 就学前児童と小学生児童を比較すると、「フルタイムへの転換希望」がある割合は小学生児童の方が多くなっていますが、「実現できる見込みがある」割合は就学前児童の方が多くなっています。



【父親】

➤ 「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の回答が1人です。



(3) 就労希望

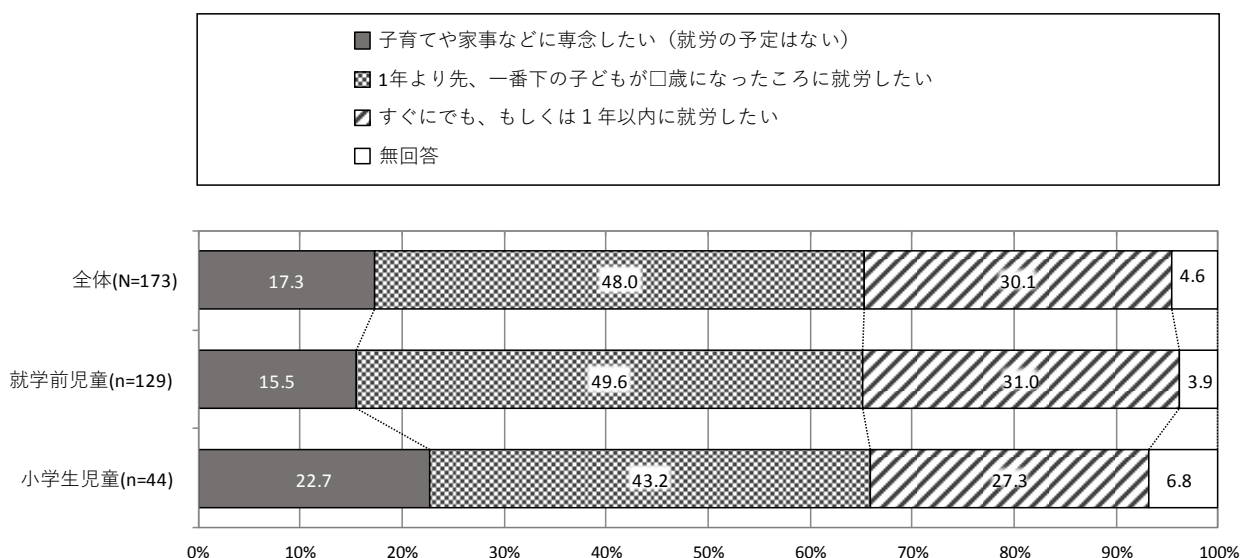
設問 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

※ 現在就労していない方とこれまで就労したことがない方

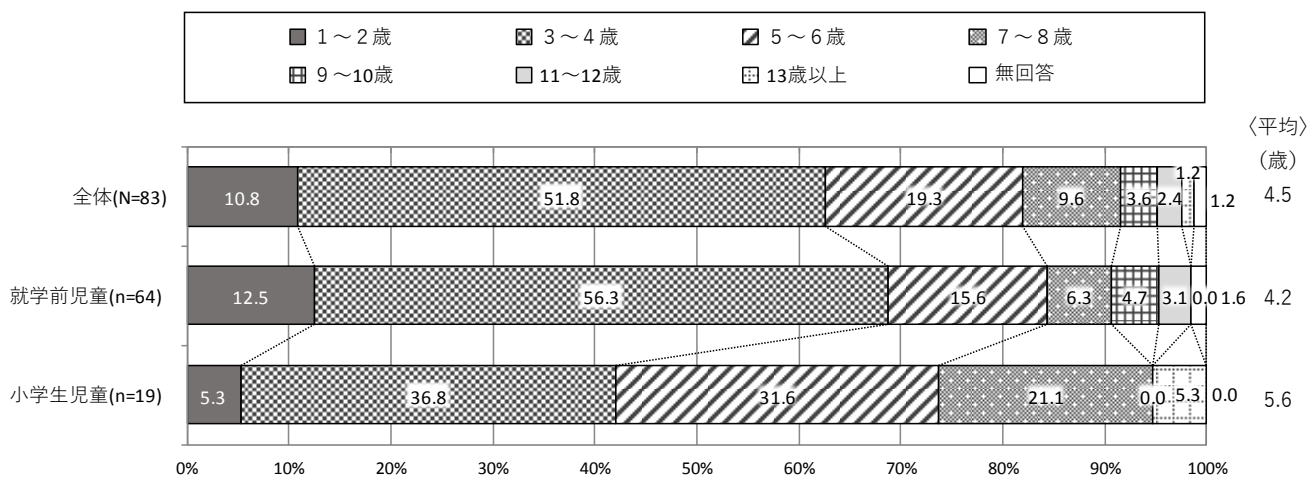
【母親】

- ▶ 全体では、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」が48.0%と最も多くなっています。また、子どもの年齢の平均は4.5歳となっています。
- ▶ 就労意欲のある人のうち、「フルタイム」希望は10.4%、「パート・アルバイト等」希望は41.5%となっています。また、希望する1週当たりの就業日数の平均は4.1日、1日当たりの終業時間の平均は5時間24分となっています。

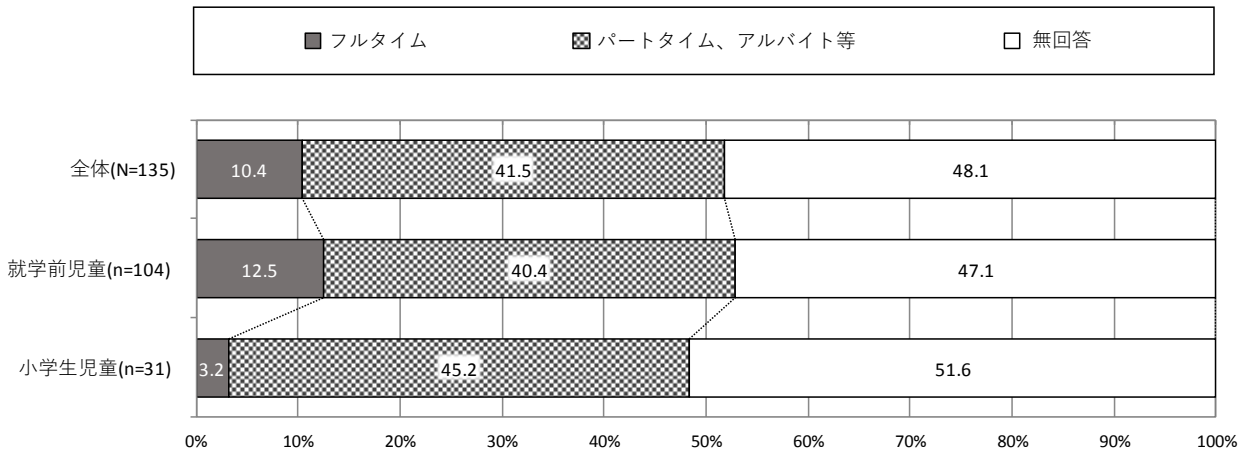
■ 就労希望



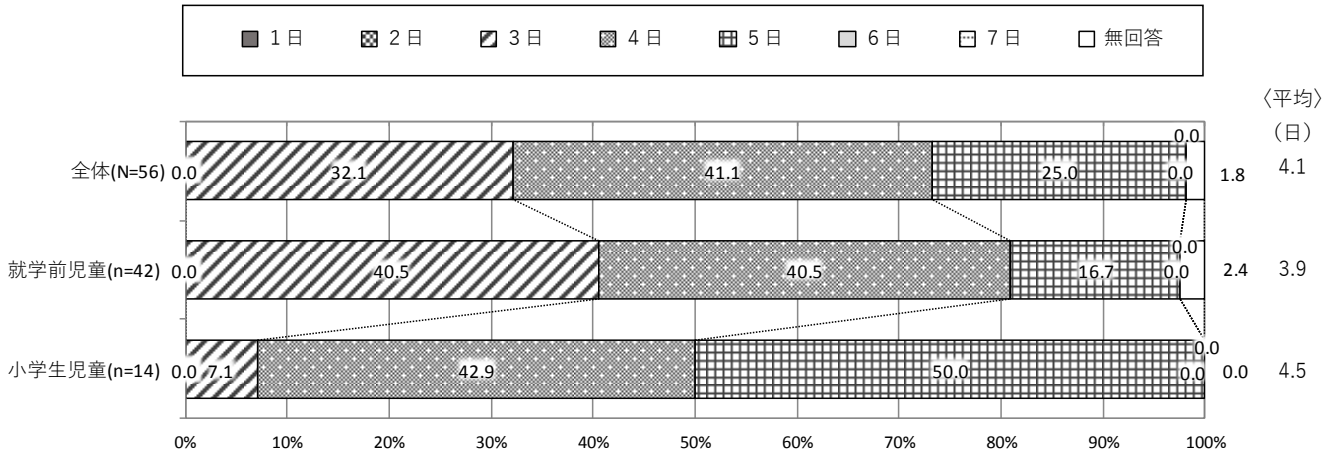
■ 「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労」と回答した人うち、希望する一番下の子どもの年齢



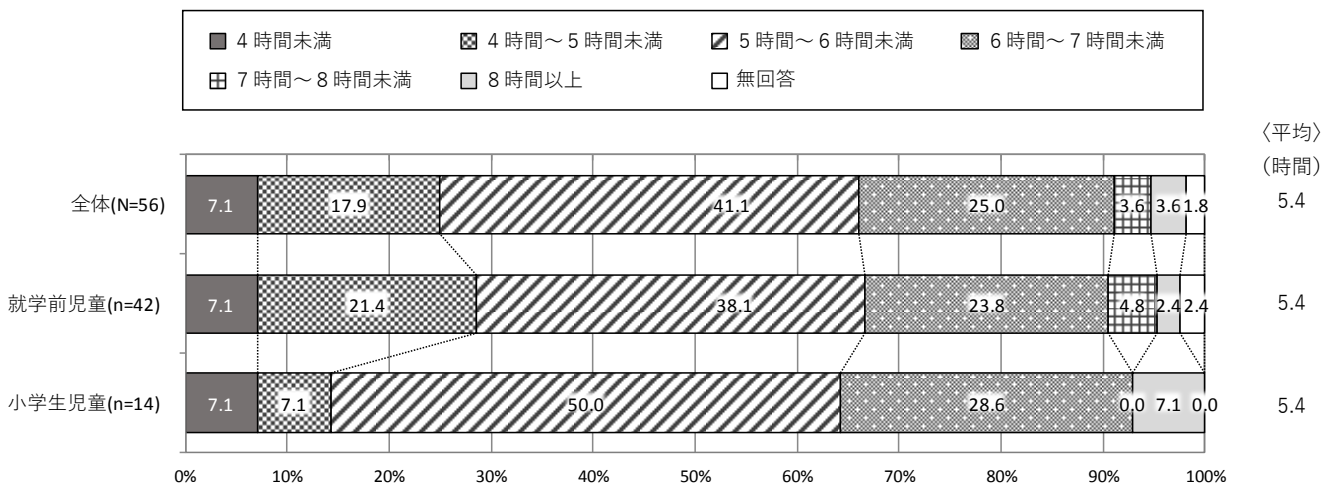
■ 就労意欲のある人のうち、希望する就労形態



■ 就労意欲のある人のうち、希望する1週当たりの就労日数



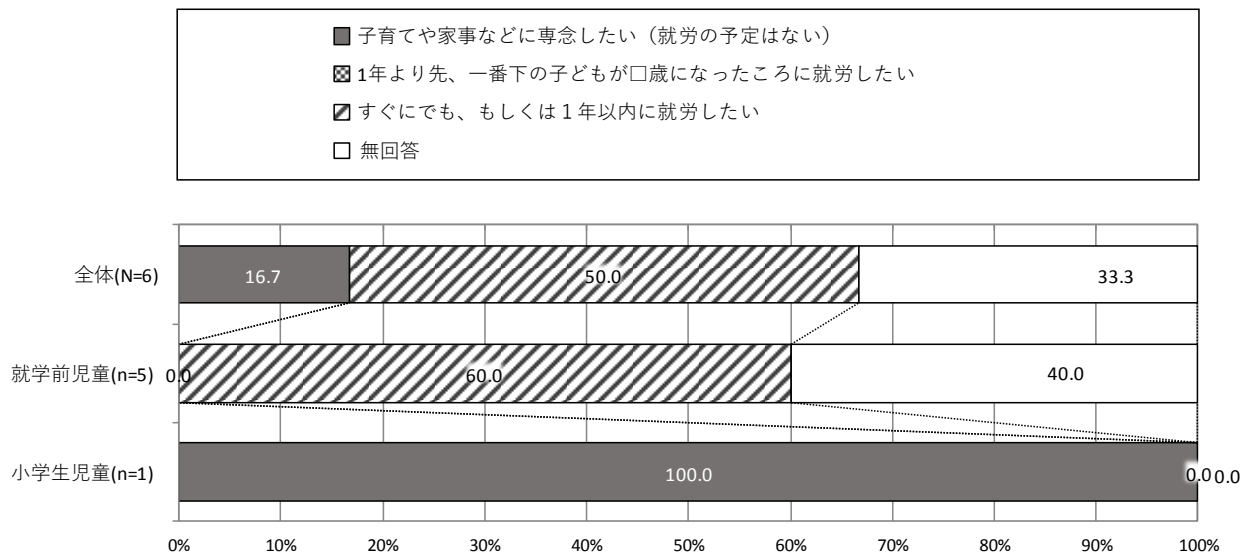
■ 就労意欲のある人のうち、希望する1日当たりの就労時間



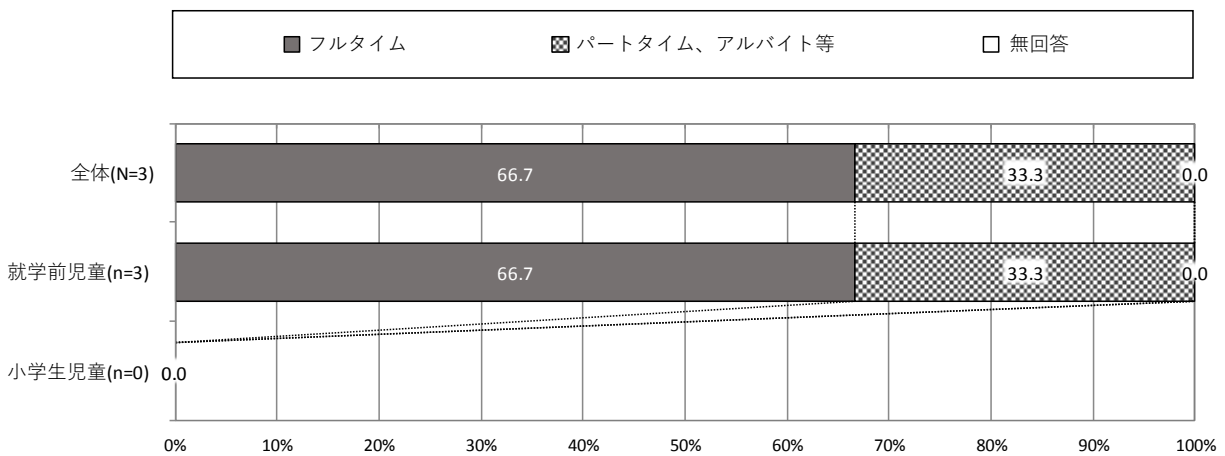
【父親】

- 全体では、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」が50.0%、「子育てや家事などに専念したい」が16.7%となっています。
- 就労意欲のある人のうち、「フルタイム」希望は66.7%、「パート・アルバイト等」希望は33.3%となっています。また、回答者は1人ですが、希望する1週当たりの就業日数は4日、1日当たりの終業時間は5時間以上6時間未満となっています。

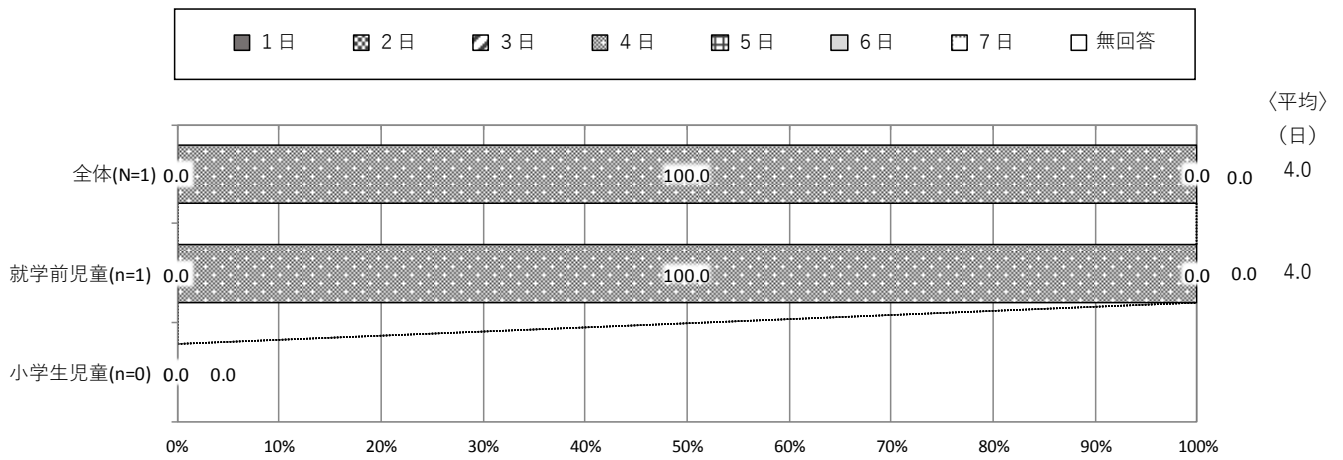
■ 就労希望



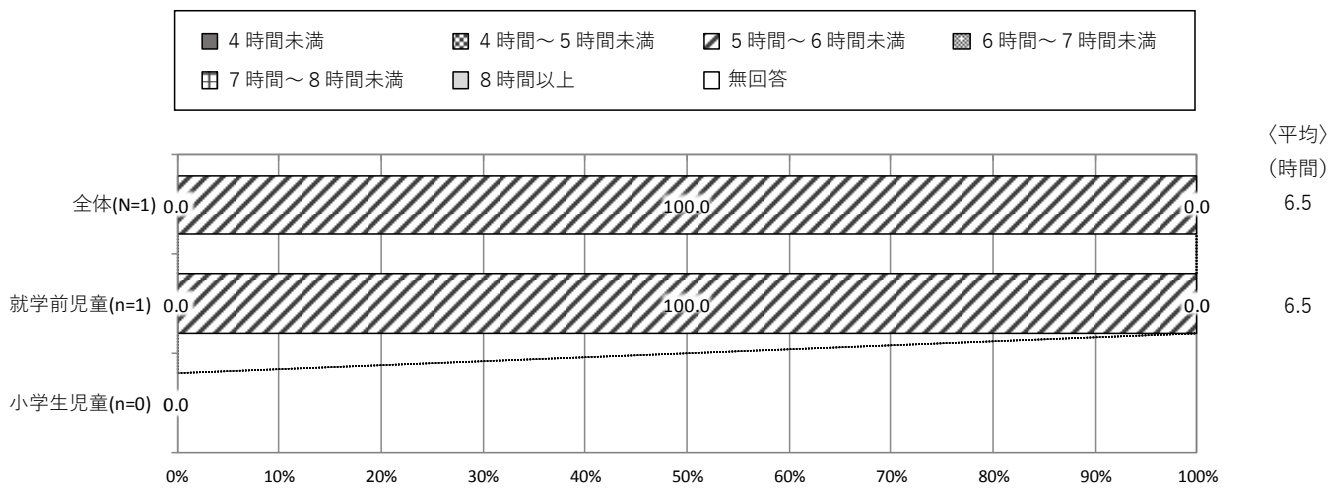
■ 就労意欲のある人のうち、希望する就労形態



■ 就労意欲のある人のうち、希望する1週当たりの就労日数



■ 就労意欲のある人のうち、希望する1日当たりの就労時間

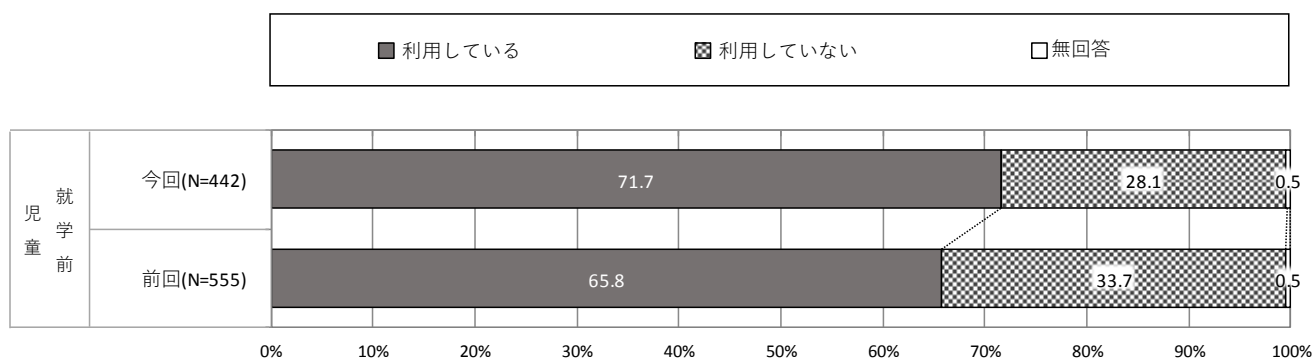


5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について<就学前児童のみ>

(1) 教育・保育事業の利用の有無

設問 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 「利用している」が71.7%と、前回調査と比較するとその割合は増加しています。

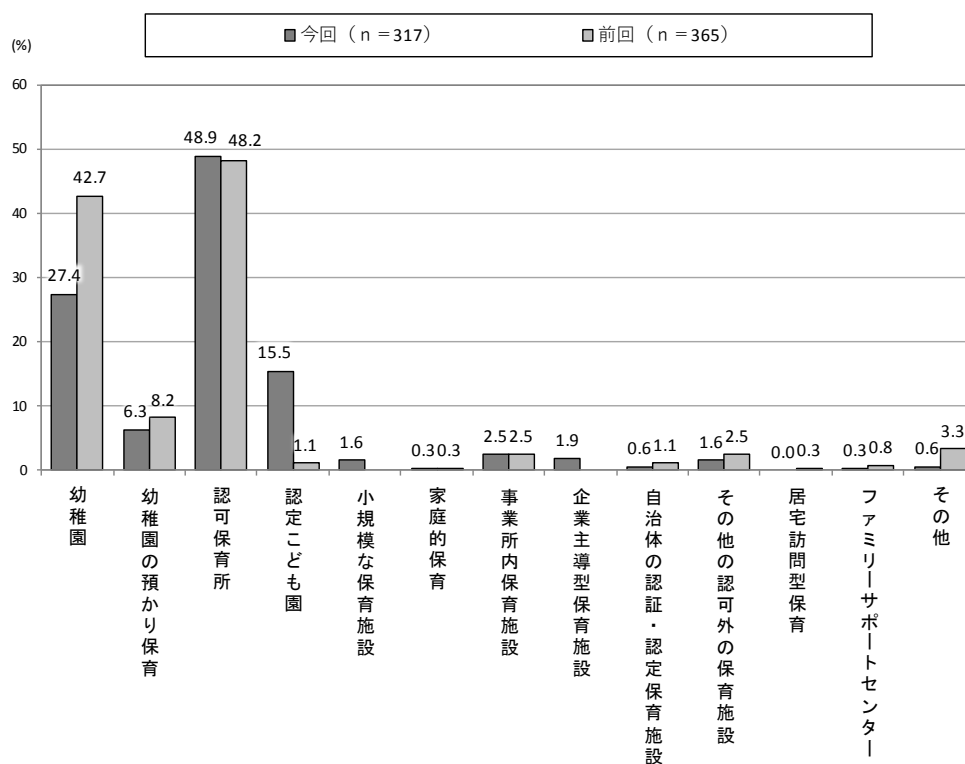


(2) 教育・保育事業の利用状況

設問 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 定期的な教育・保育の事業を利用している方

- 「認可保育所」が48.9%と最も多く、次いで「幼稚園」が27.4%、「認定こども園」が15.5%となっています。
- 前回調査と比較すると、「幼稚園」の利用が大きく減少し、「認定こども園」の利用が大きく増加しています。

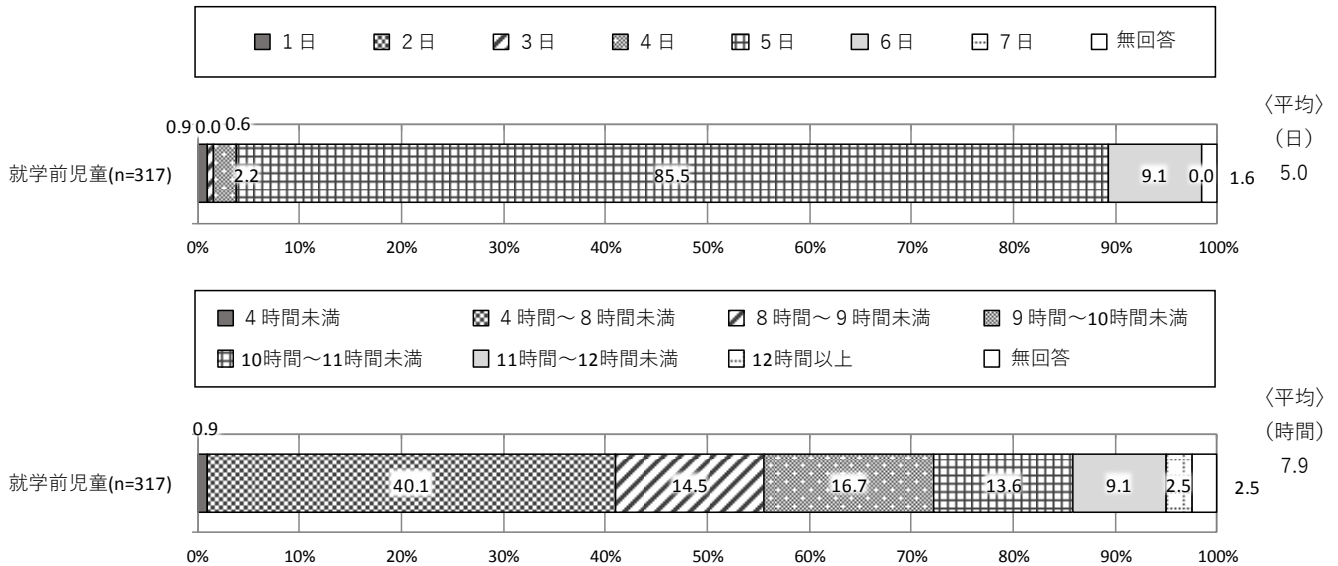


設問 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください。

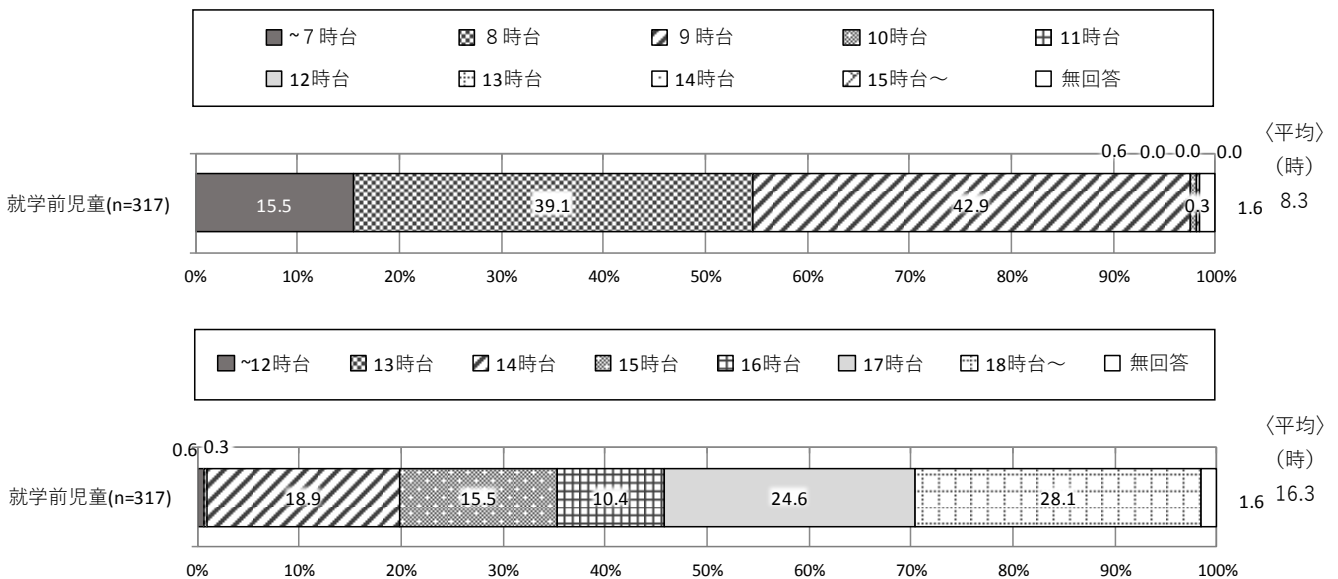
※ 定期的な教育・保育の事業を利用している方

- 現在の平均利用日数は 5.0 日、平均利用時間は 7 時間 54 分、平均の利用開始時間は 8 時 18 分、平均の利用終了時間は 16 時 18 分となっています。
- 今後の希望について、平均利用日数は 5.1 日、平均利用時間は 8 時間 30 分、平均の利用開始時間は 8 時 18 分、平均の利用終了時間は 16 時 54 分となっています。

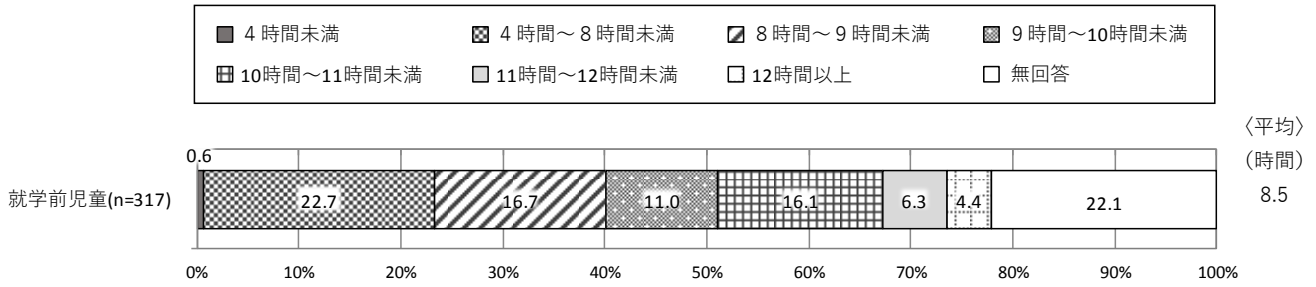
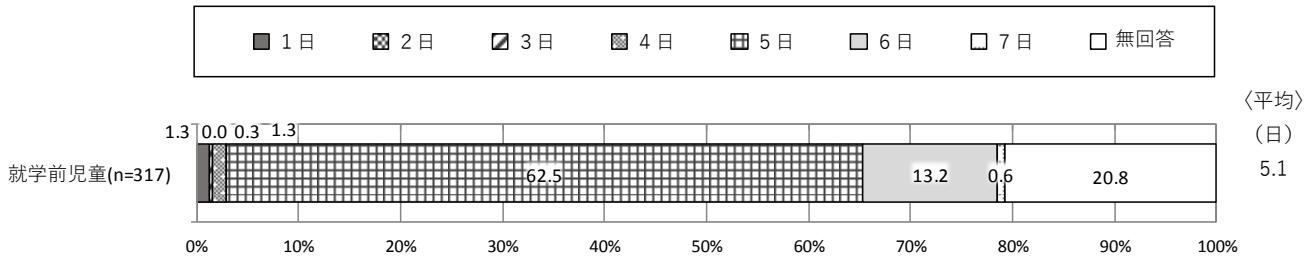
■ 現在の 1 週当たりの利用日数と 1 日当たりの利用時間



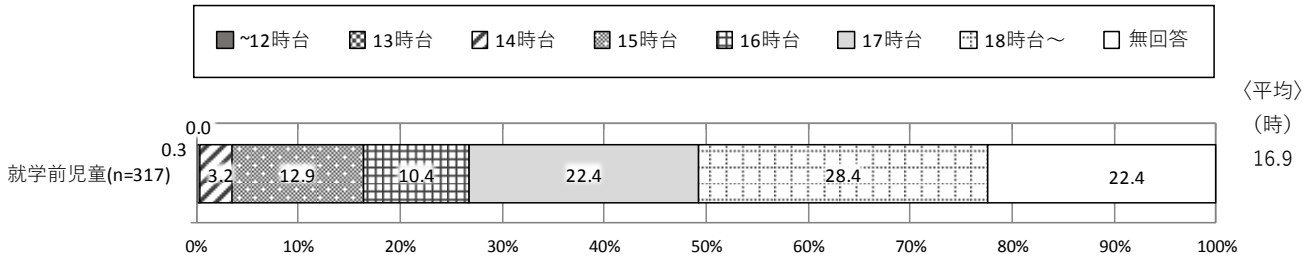
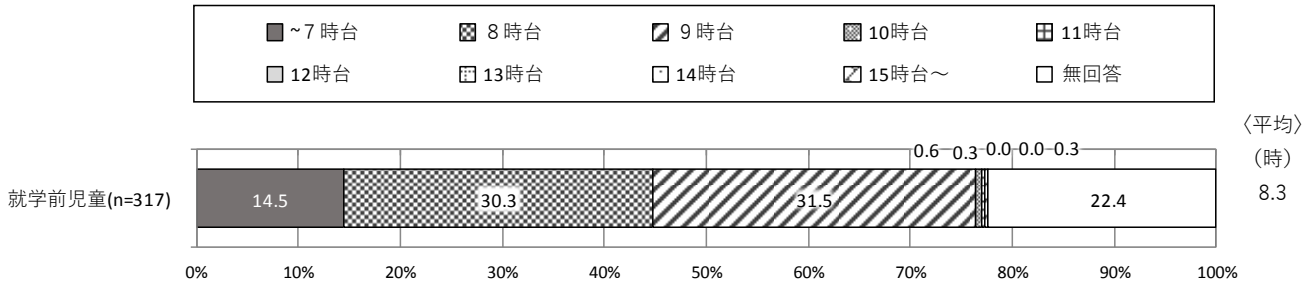
■ 現在の利用開始時間と利用終了時間



■ 希望する1週当たりの利用日数と1日当たりの利用時間



■ 希望する利用開始時間と利用終了時間

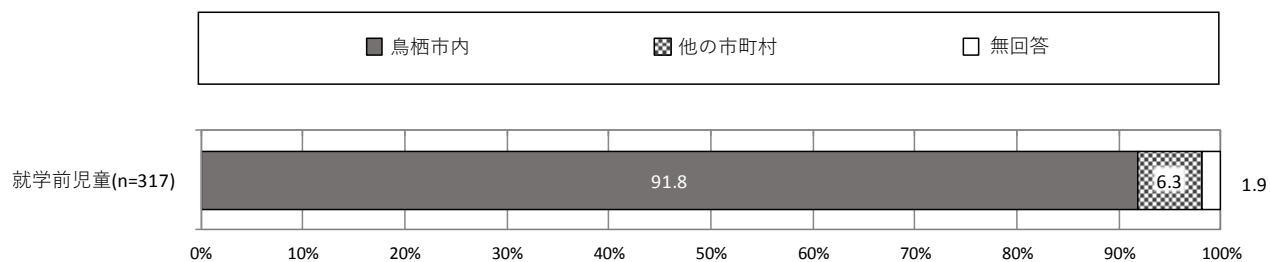


(3) 教育・保育事業の実施場所

設問 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

※ 定期的な教育・保育の事業を利用している方

➤ 「鳥栖市内」が91.8%、「他の市町村」が6.3%となっています。

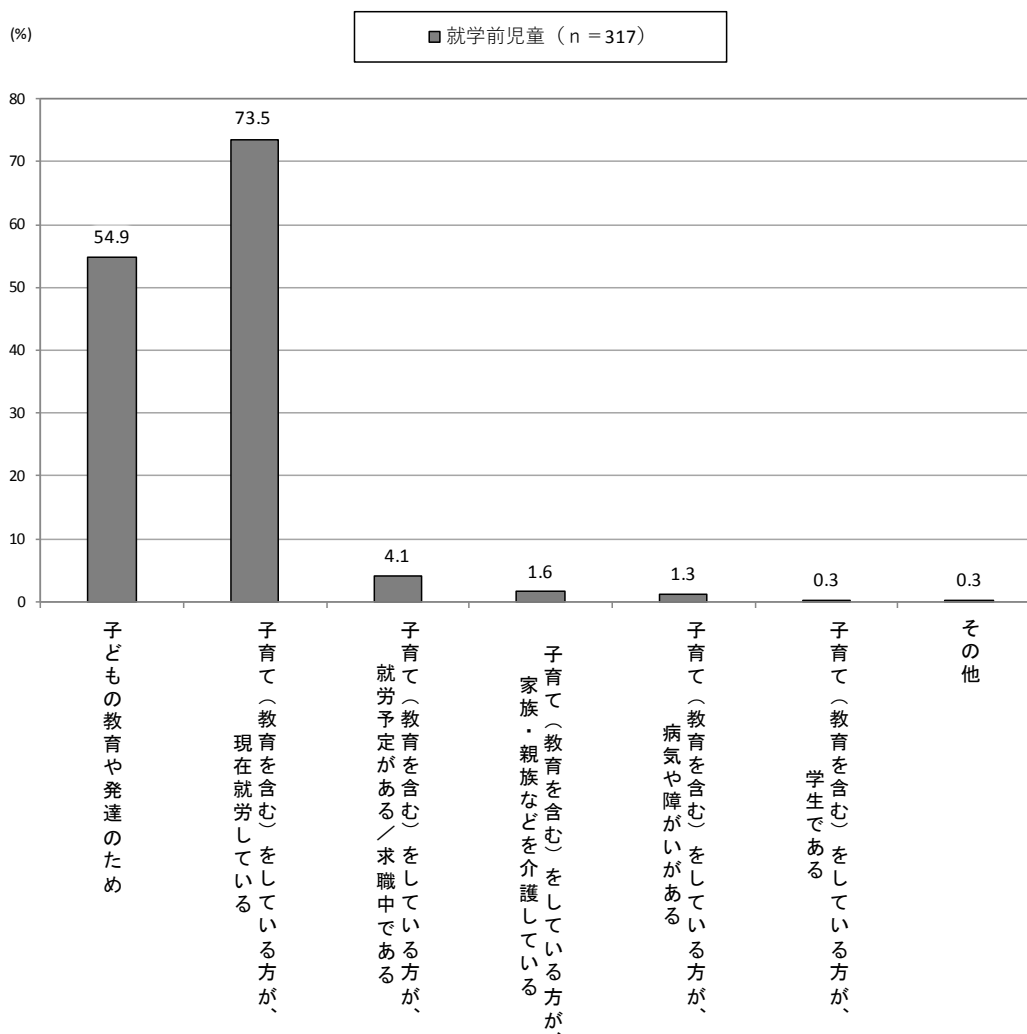


(4) 教育・保育事業を利用している理由

設問 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 定期的な教育・保育の事業を利用している方

- 「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が73.5%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が54.9%となっています。



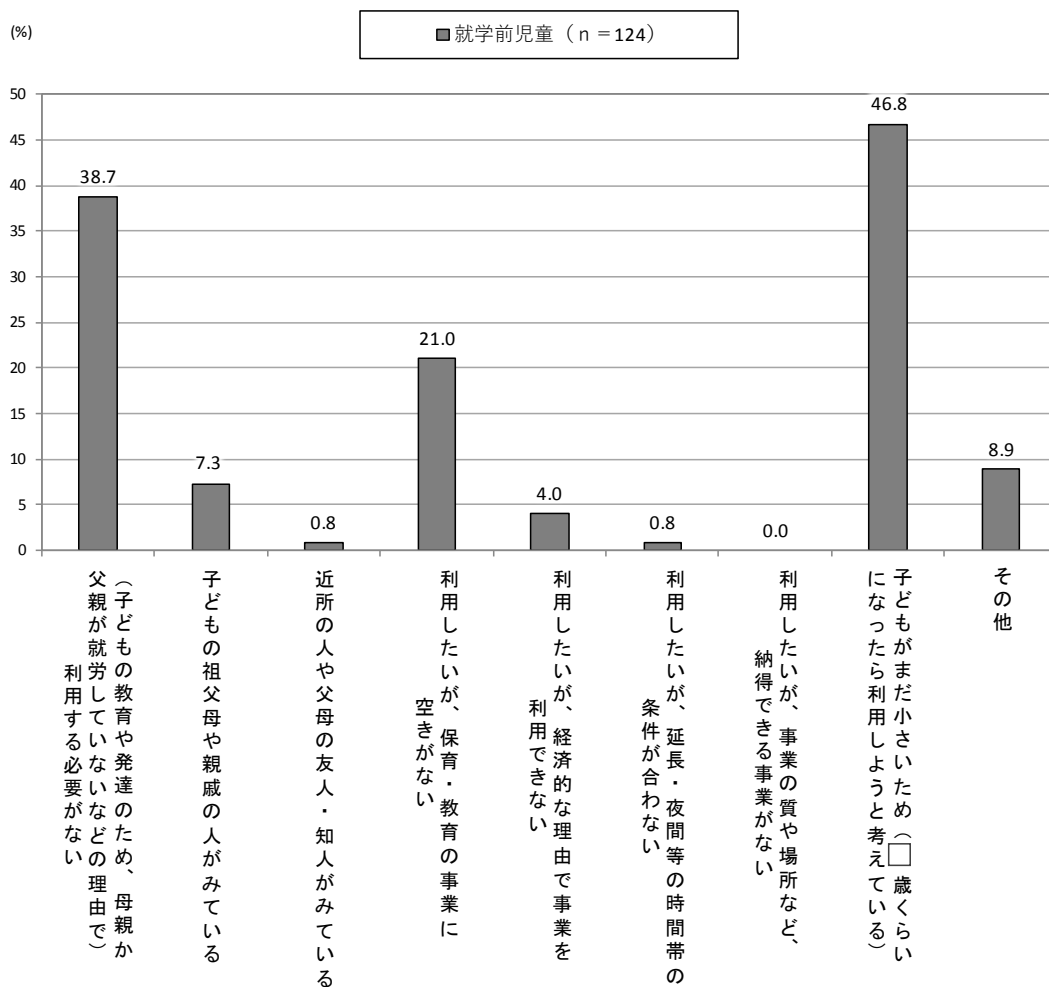
(5) 教育・保育事業を利用していない理由

設問 理由は何ですか。理由として最も当てはまる番号すべてに○をつけてください。
「8.」が理由の場合は、□内に数字もご記入ください。

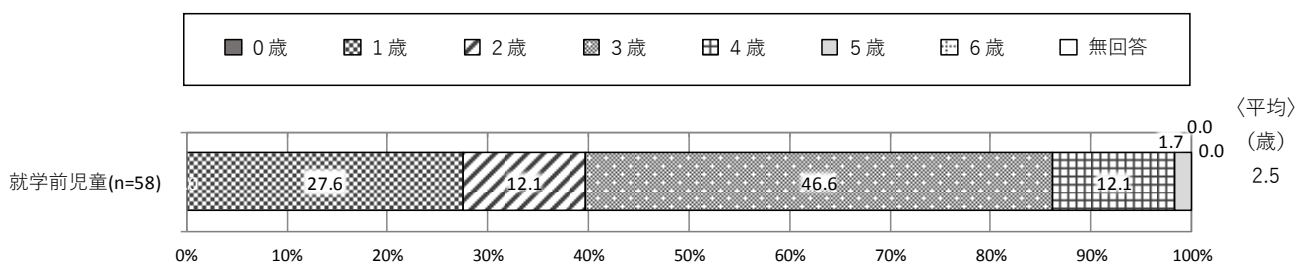
※ 定期的な教育・保育の事業を利用していない方

- 「子どもがまだ小さいため、(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」が46.8%と最も多く、子どもの年齢の平均は2.5歳となっています。

■ 教育・保育事業を利用していない理由



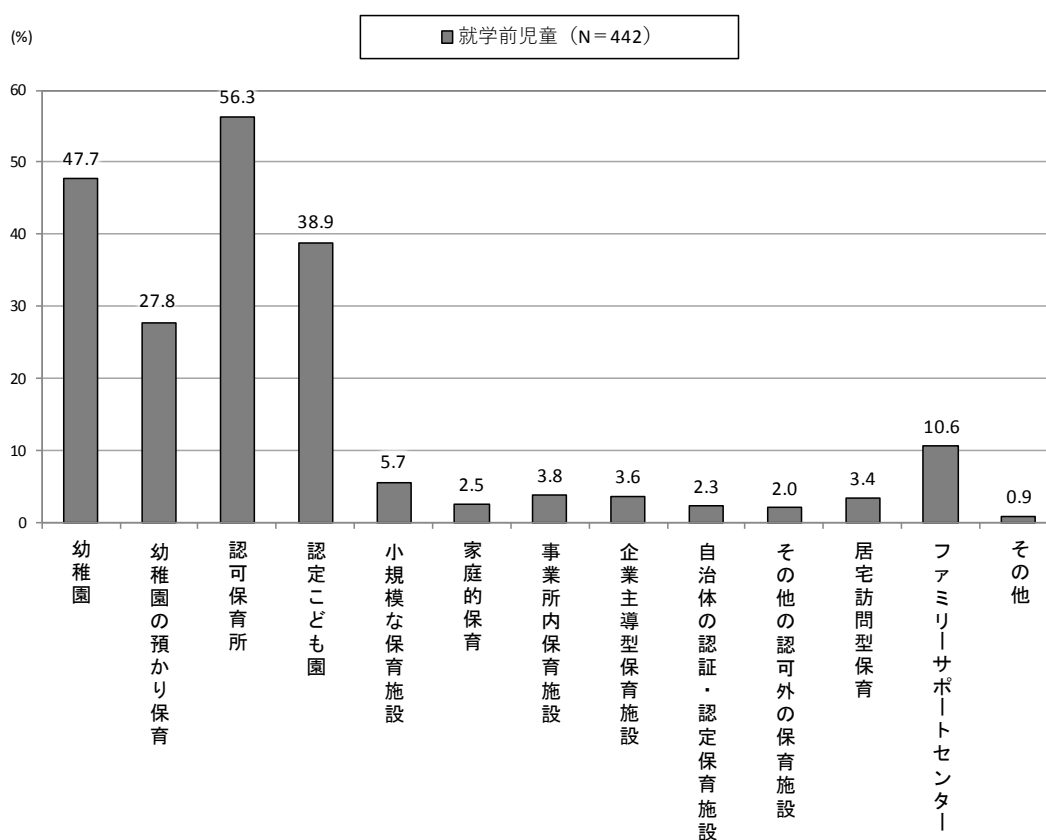
■ 「子どもがまだ小さいため、(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」と回答した人のうち、希望する子どもの年齢



(6) 教育・保育事業を利用したい事業

設問 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- 「認可保育所」が56.3%と最も多く、次いで「幼稚園」が47.7%、「認定こども園」が38.9%となっています。

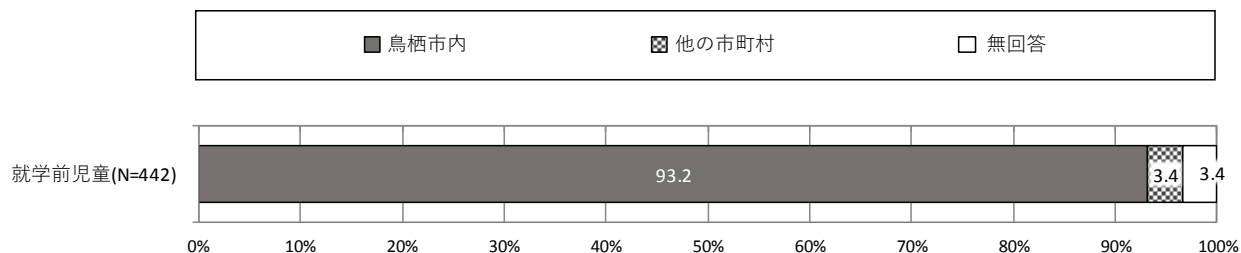


(7) 教育・保育事業の実施場所

設問 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号 1 つに ○をつけてください。

※ 定期的な教育・保育の事業を利用したい方

- 「鳥栖市内」が93.2%、「他の市町村」が3.4%となっています。

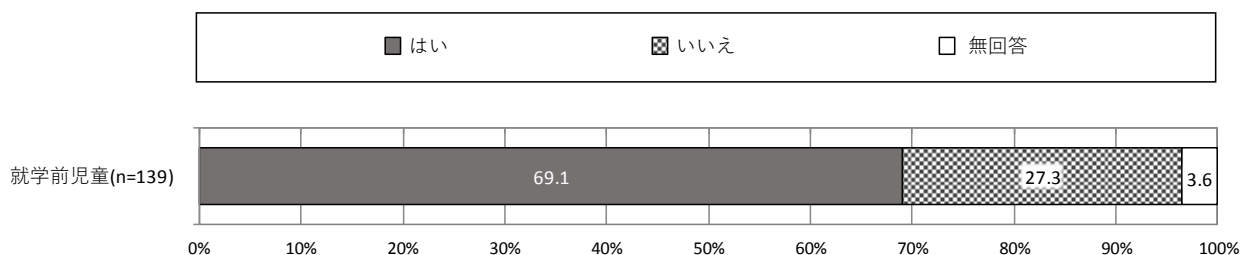


(8) 幼稚園の利用を強く希望するか

設問 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

※ (6) で「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」とその他の事業を選択した方

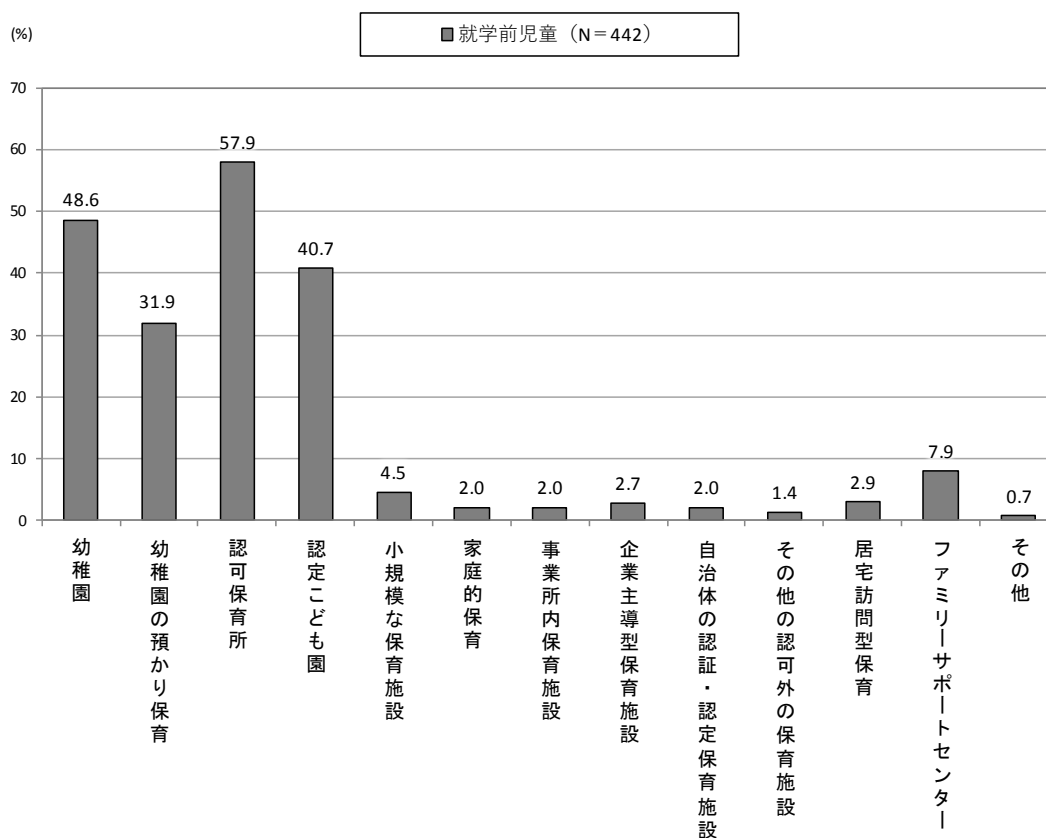
- 特に幼稚園の利用を強く希望することについて、「はい」が69.1%、「いいえ」が27.3%となっています。



(9) 幼児教育・保育無償化が実施された場合に利用したい事業

設問 すべての方にうかがいます。「幼児教育・保育無償化」となった場合に、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 「認可保育所」が57.9%と最も多く、次いで「幼稚園」が48.6%、「認定こども園」が40.7%となっています。
- 37頁の設問と比較して、「幼稚園」は0.9%、「幼稚園の預かり保育」は4.1%、「認可保育所」は1.6%、「認定こども園」は1.8%増加しています。



6. 土曜・休日等の定期的な教育・保育事業の利用希望について

＜就学前児童のみ＞

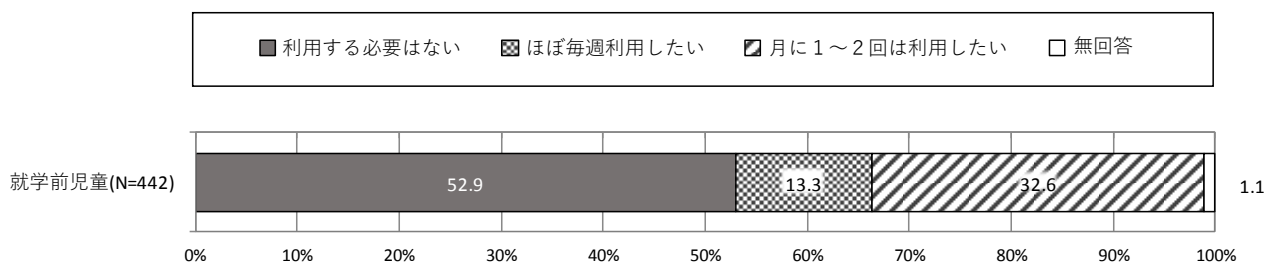
(1) 土日・祝日の教育・保育事業の利用希望と希望する時間帯

設問 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

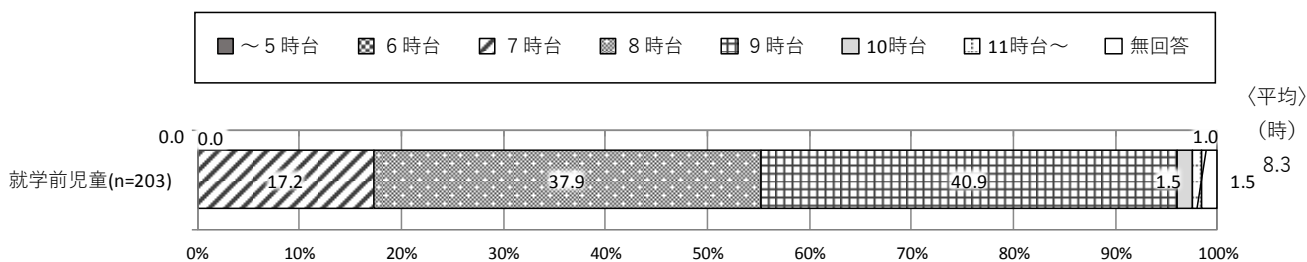
【土曜日】

- 利用希望は、「利用する必要はない」が52.9%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が32.6%、「ほぼ毎週利用したい」が13.3%となっています。
- 希望する利用開始時間の平均は8時18分、利用終了時間の平均は16時42分となっています。

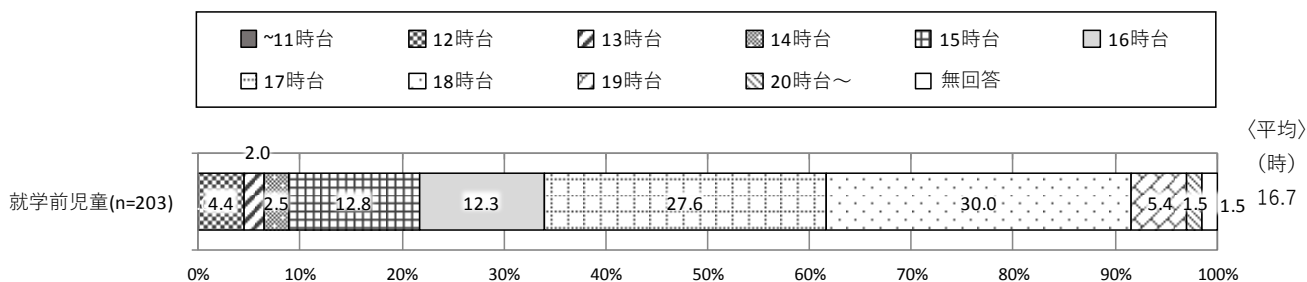
■ 土曜日の教育・保育事業の利用希望



■ 土曜日の教育・保育事業の利用希望時間（開始）



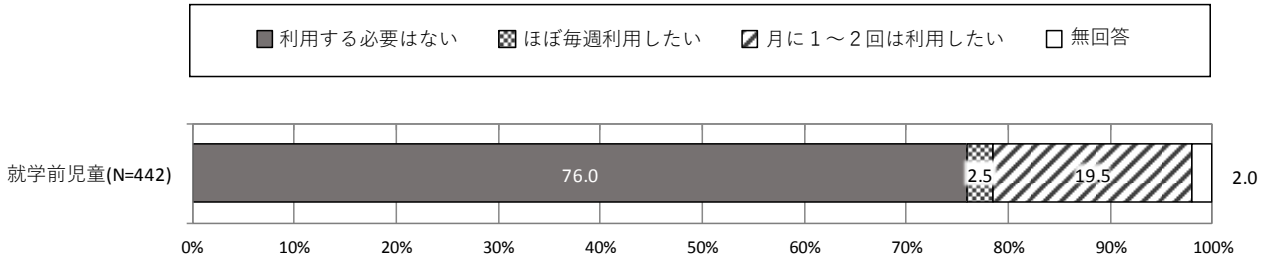
■ 土曜日の教育・保育事業の利用希望時間（終了）



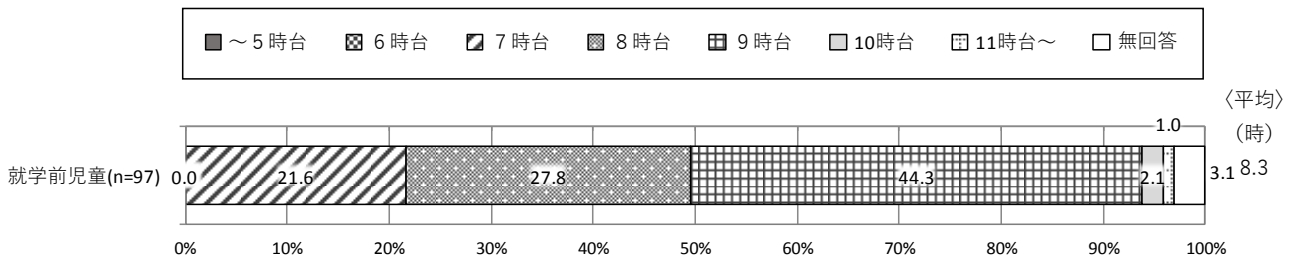
【日曜・祝日】

- 利用希望は、「利用する必要はない」が76.0%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が19.5%、「ほぼ毎週利用したい」が2.5%となっています。
- 希望する利用開始時間の平均は8時18分、利用終了時間の平均は17時となっています。

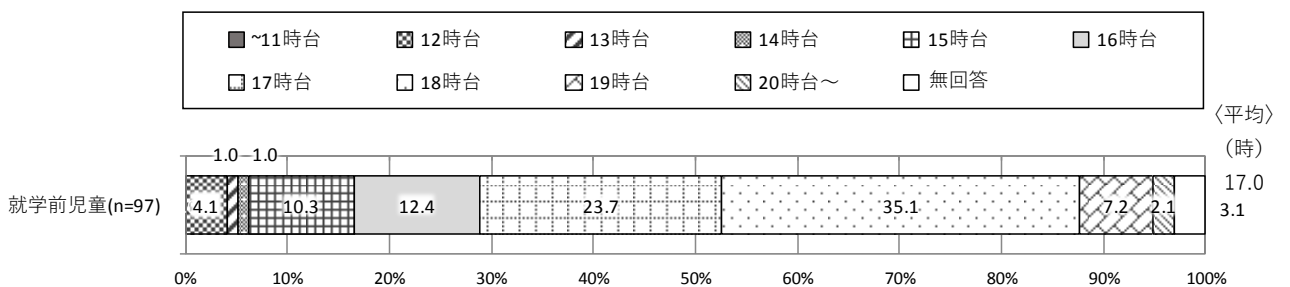
■ 日曜・祝日の教育・保育事業の利用希望



■ 日曜・祝日の教育・保育事業の利用希望時間（開始）



■ 日曜・祝日の教育・保育事業の利用希望時間（終了）

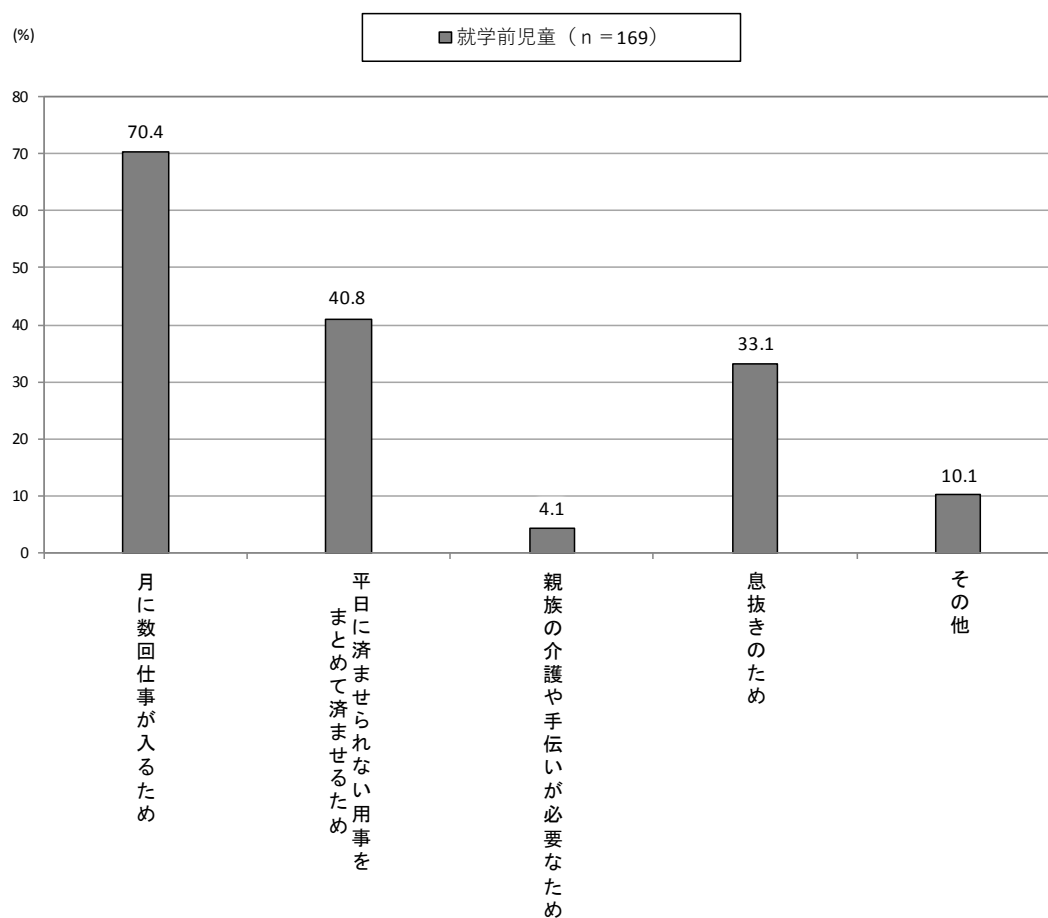


(2) 土日・祝日に教育・保育事業をたまに利用したい理由

設問 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※土曜日と日曜日・祝日に、教育・保育の事業を月に1～2回は利用したい方

- 「月に数回仕事が入るため」が70.4%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が40.8%、「息抜きのため」が33.1%となっています。



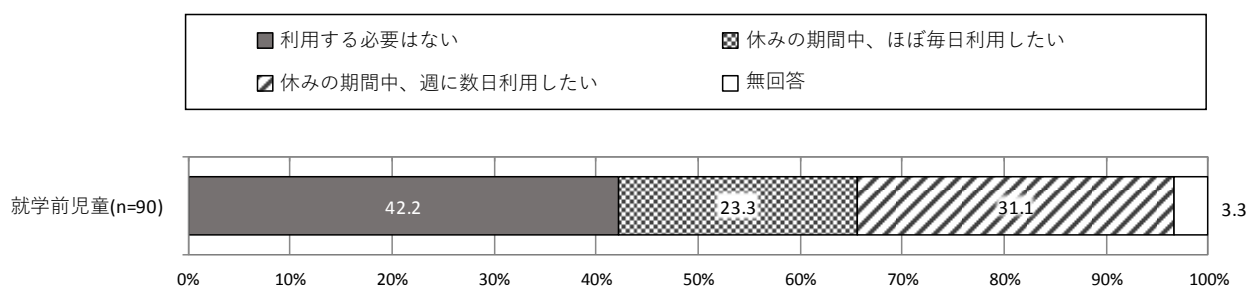
(3) 長期休暇期間中の利用希望と希望する時間帯

設問 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけ、希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

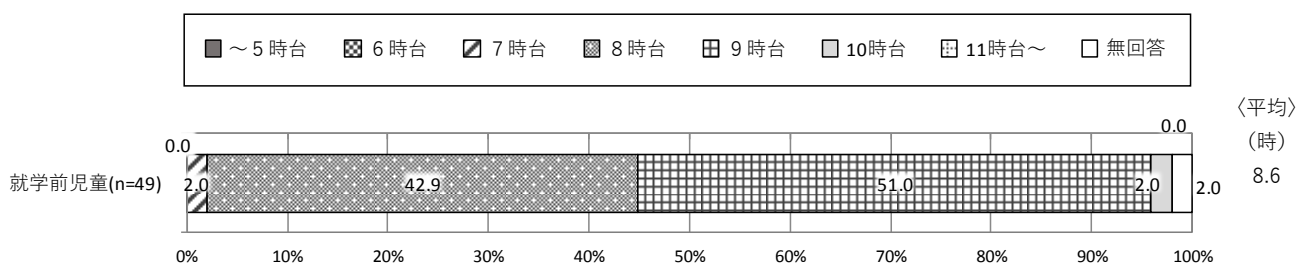
※ 幼稚園を利用される方

- 利用希望は、「利用する必要はない」が42.2%と最も多く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が31.1%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が23.3%となっています。
- 希望する利用開始時間の平均は8時36分、利用終了時間の平均は16時24分となっています。

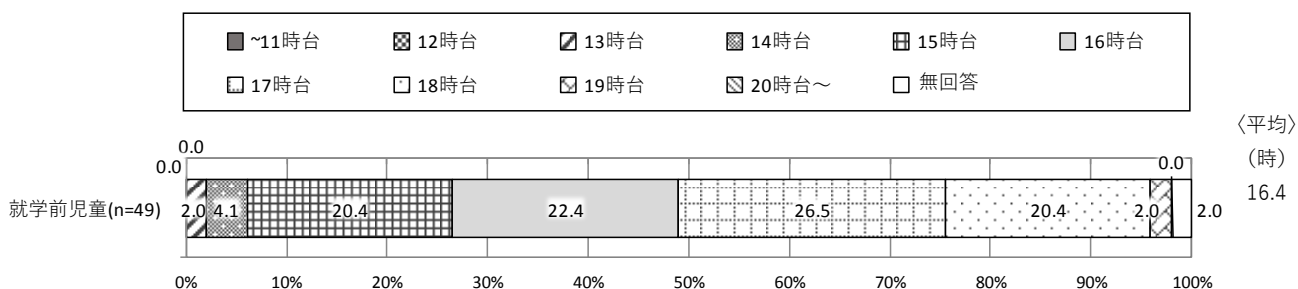
■ 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望



■ 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望時間（開始）



■ 長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望時間（終了）

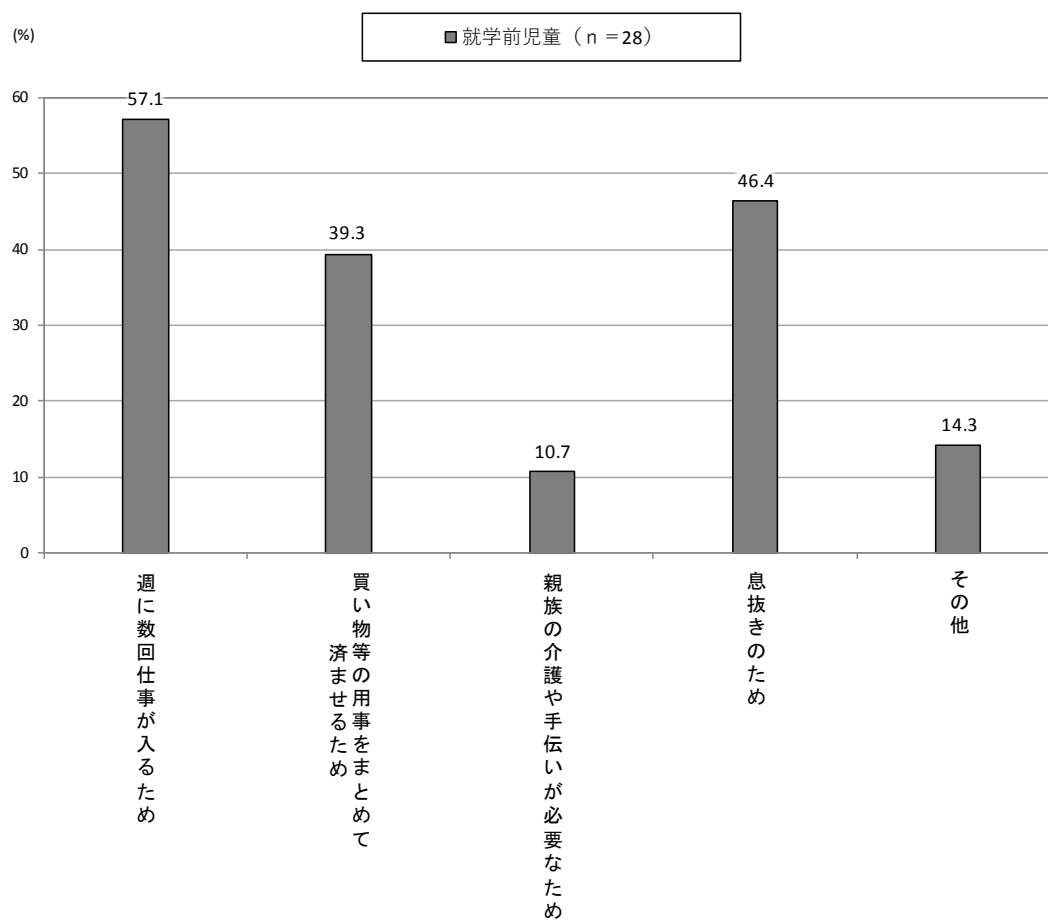


(4) 長期休暇期間中にたまに利用したい理由

設問 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 長期期間中、週に数日利用したい方

- 「週に数回仕事が入るため」が 57.1%と最も多く、次いで「息抜きのため」が 46.4%、「買物等の用事をまとめて済ませるため」が 39.3%となっています。

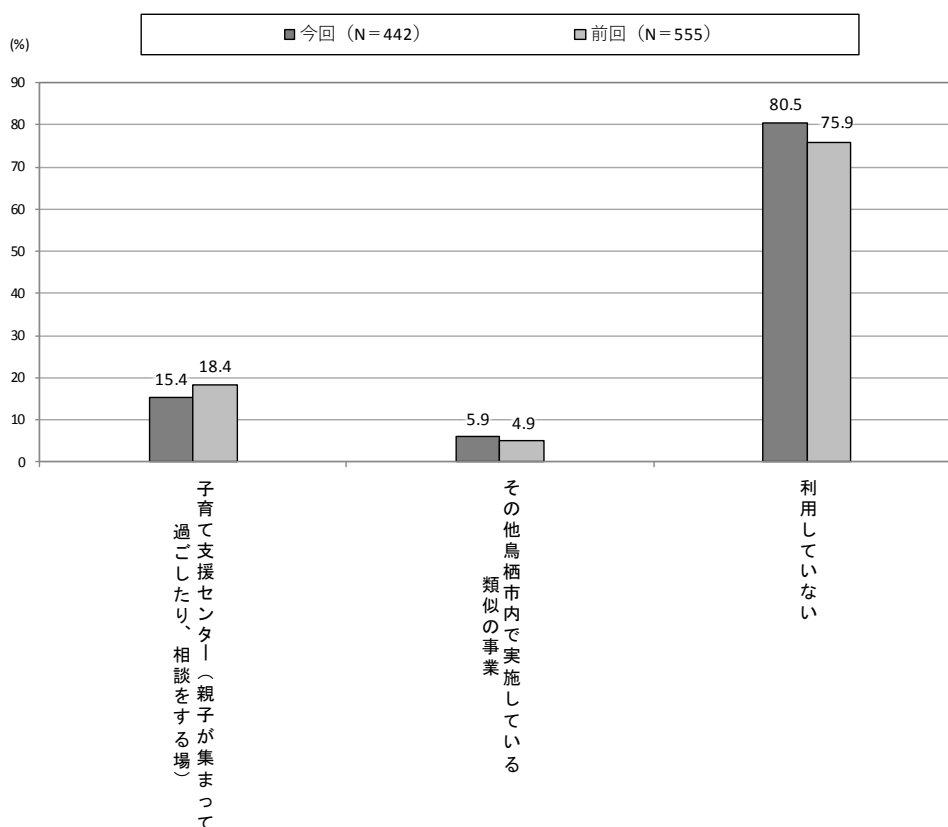


7. 地域子育て支援事業の利用状況について<就学前児童のみ>

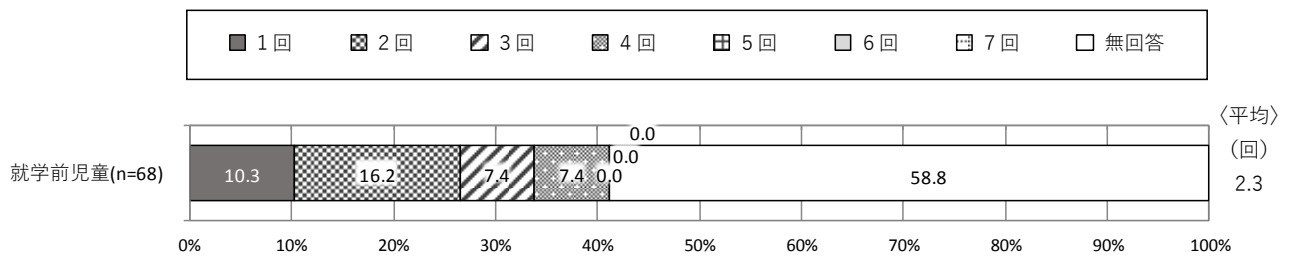
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

設問 宛名のお子さんは、現在、「地域子育て支援センター」（地域子育て支援拠点事業）として、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場所）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

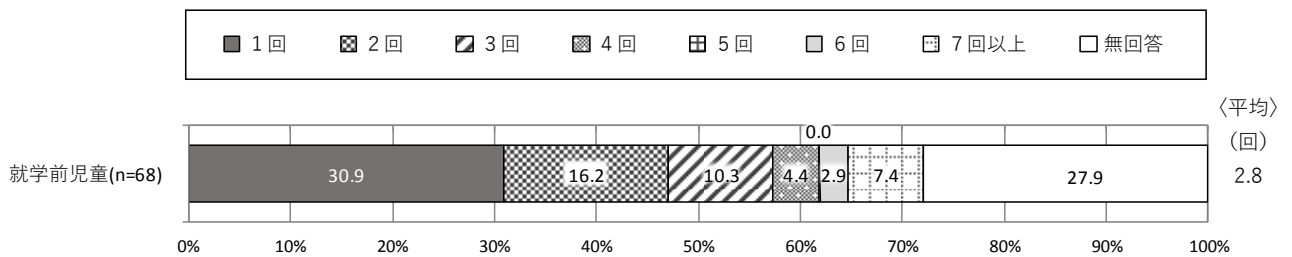
- 「利用していない」が80.5%と最も多く、前回より4.9%増加しています。
- 「子育て支援センター」を利用している人のうち、1週当たりの利用回数の平均は2.3回、1か月あたりの利用回数の平均は2.8回となっています。
- 「その他鳥栖市内で実施している類似事業」を利用している人のうち、1週当たりの利用回数の平均は1.9回、1か月あたりの利用回数の平均は1.9回となっています。



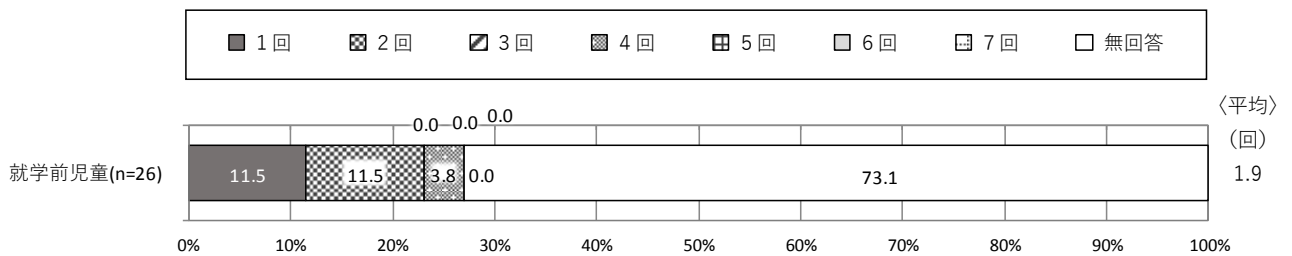
■ 子育て支援センターの利用頻度（1週あたり）



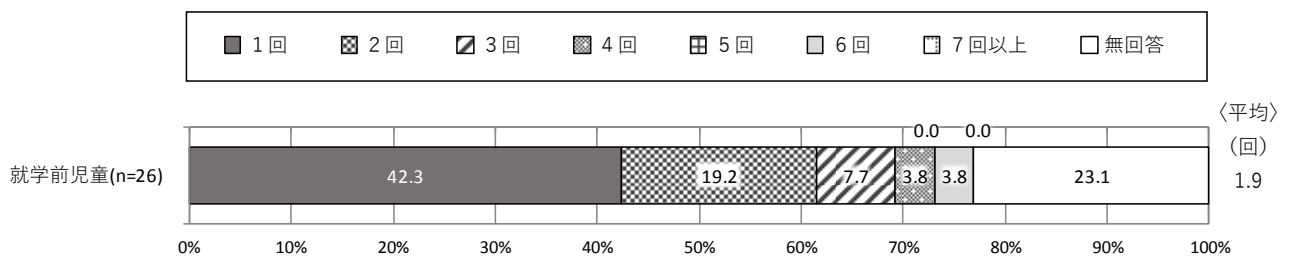
■ 子育て支援センターの利用頻度（1月あたり）



■ その他鳥栖市内で実施している類似事業の利用頻度（1週あたり）



■ その他鳥栖市内で実施している類似事業の利用頻度（1月あたり）

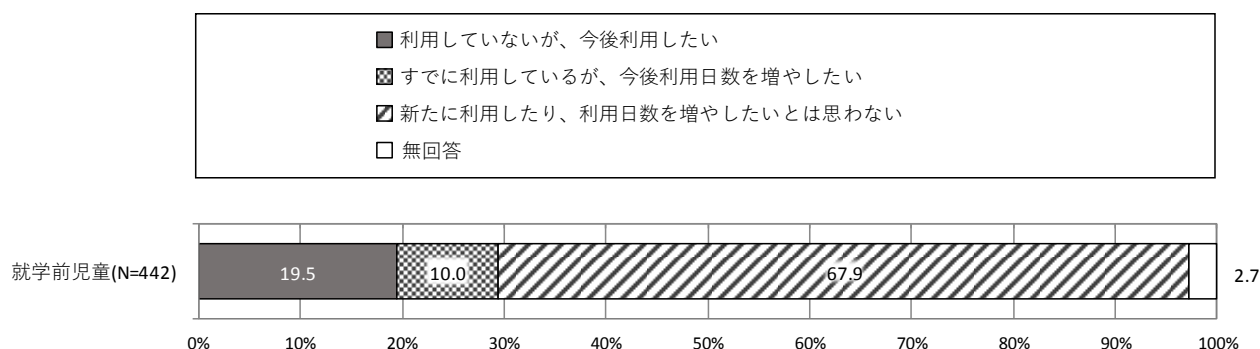


(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望

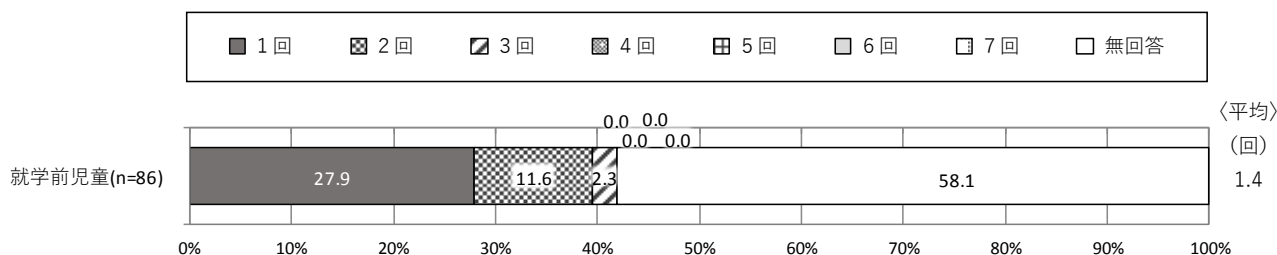
設問 地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

- 「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が67.9%と最も多くなっています。
- 「利用していないが、今後利用したい」人のうち、希望する1週あたりの利用回数の平均は1.4回、1月あたりの利用回数の平均は2.4回となっています。
- 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人のうち、希望する1週あたりの利用回数の平均は1.7回、1月あたりの利用回数の平均は4.5回となっています。

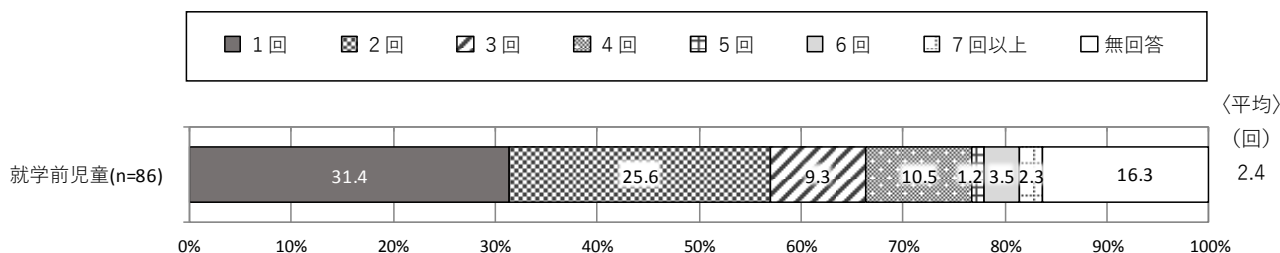
■ 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望



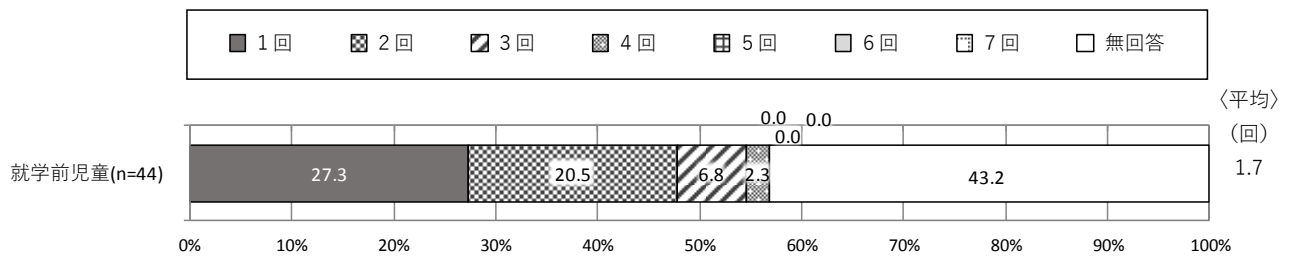
■ 「利用していないが、今後利用したい」人の利用希望（1週あたり）



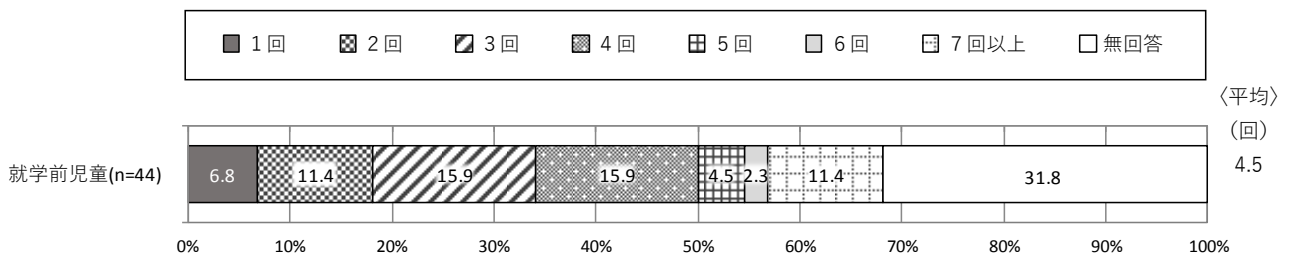
■ 「利用していないが、今後利用したい」人の利用希望（1月あたり）



■ 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人の利用希望（1週あたり）



■ 「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」人の利用希望（1月あたり）



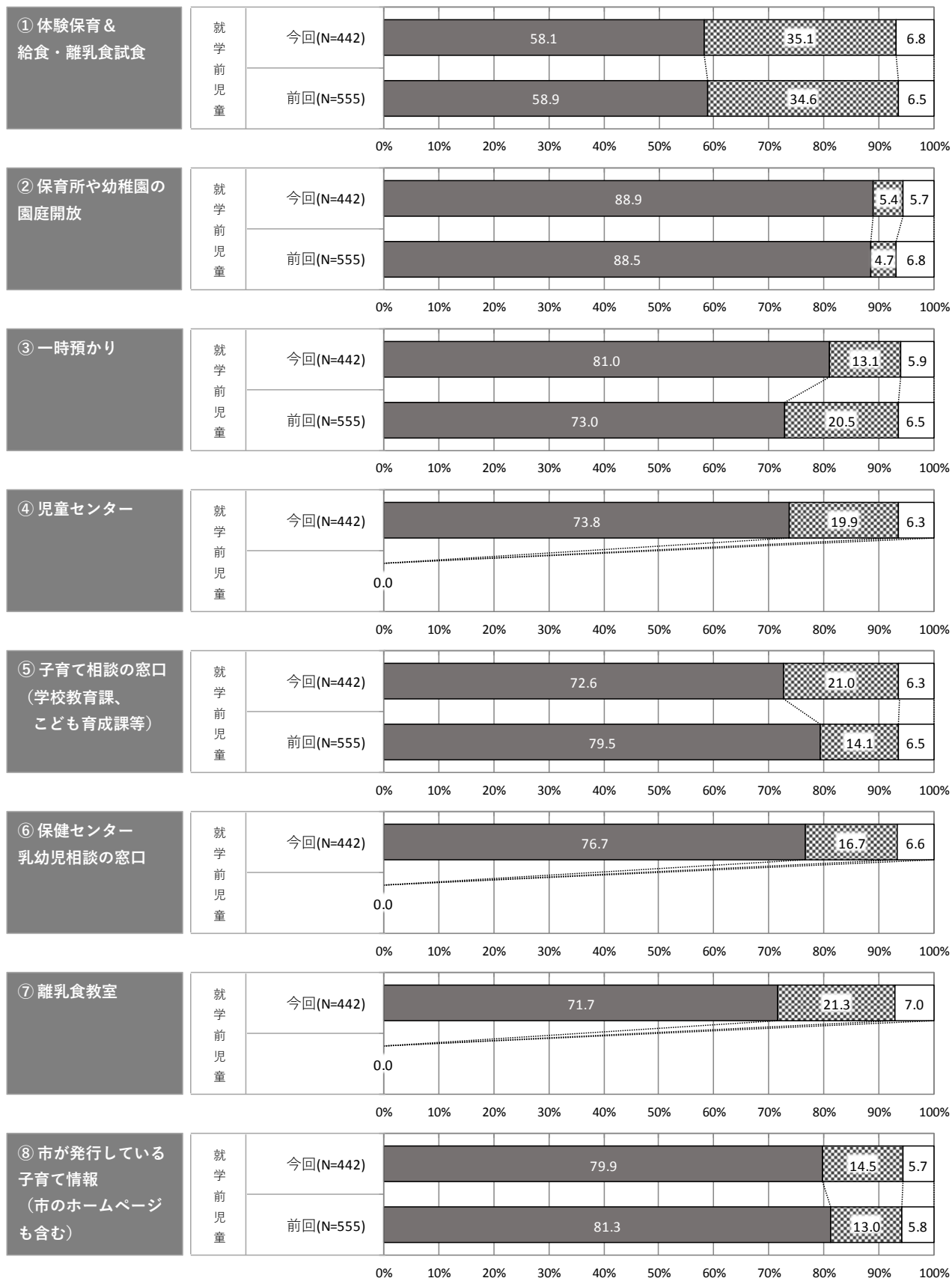
(3) 地域の子育てに関する事業の認知度と利用状況、今後の利用希望

設問 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑧の事業ごとに、それぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

- 認知度が最も高いのは、「保育所や幼稚園の園庭開放」の88.9%、次いで「一時預かり」が81.0%、「市が発行している子育て情報」が79.9%となっています。前回調査と比較すると「一時預かり」の認知度が上がっています。
- 利用状況が最も多いのは、「市が発行している子育て情報」の55.7%、次いで「保育所や幼稚園の園庭開放」が45.7%、「離乳食教室」が43.2%となっています。前回調査と比較すると「子育て相談の窓口」の利用状況が減少しています。
- 今後の利用希望が最も多いのは、「市が発行している子育て情報」の65.4%、次いで「児童センター」が50.9%、「子育て相談の窓口」が45.9%となっています。前回調査と比較すると全体の利用希望は減少傾向にあります。

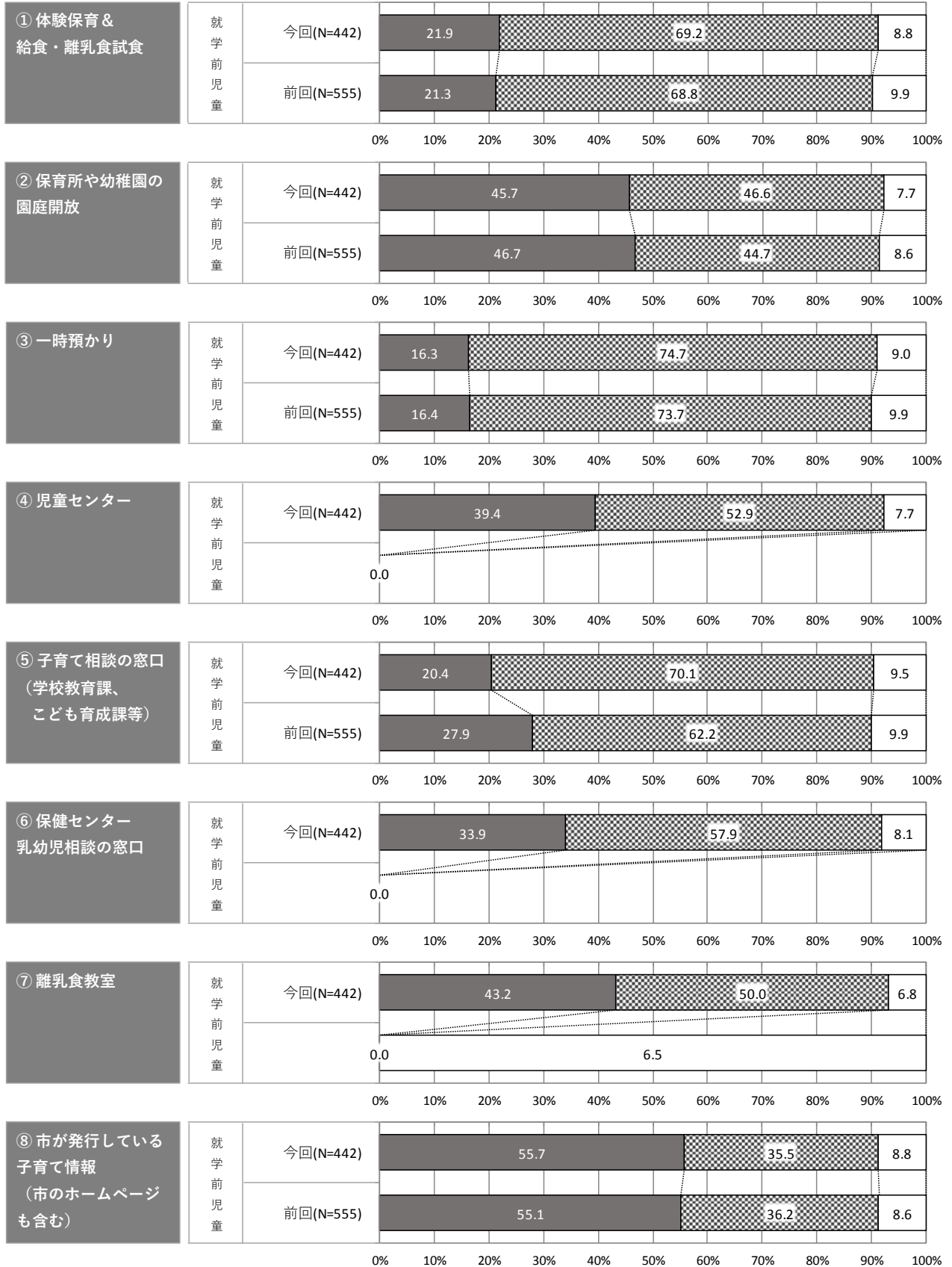
■ 地域の子育てに関する事業の認知度

A. 知っている



■ 地域の子育てに関する事業の利用状況

B. これまでに利用したことがある



■ 地域の子育てに関する事業の利用希望

C. 今後利用したい

